

# 宮 城 県 の が ん

1998－2002

2007年3月

宮 城 県 新 生 物 レジ ス ト リ ー

## はじめに

宮城県のがん登録は、東北大学医学部公衆衛生学講座の初代教授である故瀬木三雄先生が、昭和 26 年に宮城県衛生部および宮城県医師会の協力を得て悪性新生物罹患調査を実施したのを嚆矢とする。昭和 34 年より宮城新生物レジストリーによる本格的な地域がん登録として開始され、以降継続的に登録業務が実施されている。その後事務局は東北大学から宮城県立成人病センターに移管され、さらに昭和 51 年より宮城県による委託事業として財団法人宮城県対がん協会が登録業務を行い今日に至っている。日本において 40 年以上という長い歴史を持つ宮城県のがん登録は、わが国のがん罹患の動向を知る上で貴重な資料である。また国際的にも日本を代表する地域がん登録として高く評価され、世界各地のがん罹患統計を掲載する IARC 発行の「五大陸のがん」(Cancer Incidence in Five Continents)には 第1巻に 1959－1960 年(昭和 34－35 年)の結果が掲載されて以来、1993－1997 年(平成5－9年)の結果が掲載された最新刊の第8巻まで日本の地域がん登録の中では唯一継続して集計が掲載されている。現在、がん登録は宮城県のがん対策の基礎資料として活用されるとともに、各種疫学研究および臨床研究に利用され大きな成果をあげている。

今回、平成 10－14 年の宮城県におけるがん罹患状況と昭和 34 年以降の年次動向を提示する目的で本報告書を作成した。これらの集計の基となる登録資料の収集に当たっては、財団法人宮城県対がん協会からの多大なる支援とともに、県内医療機関、県市郡医師会、宮城県保健福祉部、東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野等から絶大なご協力をいただいている。これらの関係各位に心より厚く御礼申し上げるとともに、引き続きのご支援を賜りたくお願い申し上げます次第である。本報告書が、宮城県における一層のがん予防の推進およびがん医療の向上のための一助となれば幸いである。

平成 19 年 3 月

宮城県新生物レジストリー委員会会長  
宮城県医師会長 師 研也

# 目 次

平成 10－14 年の罹患数と部位別割合	1
罹患率と死亡率の年次推移	3
登録の精度	7
診断および治療の詳細	9
がん検診の寄与	13
がん罹患者の 5 年生存率	15
市町村別観察	17

## 付表

付表 1 平成 10－14 年における各部位の年齢階級別罹患数	23
付表 2 平成 10－14 年における各部位の年齢階級別罹患率、 粗罹患率および年齢調整罹患率	25
付表 3 年齢調整罹患率の推移	27
付表 4 平成 10－14 年における市町村別、 主要部位別がん罹患数（5 年間）および標準化罹患比	29
付表 5 平成 10－14 年における市町村別、 主要部位別検診発見がん罹患数（5 年間）および割合	35

## 資料

宮城県がん登録管理事業実施要領	41
宮城県新生物レジストリー委員会要綱	42
宮城県新生物レジストリー委員会規程	43
宮城県新生物レジストリー委員会委員名簿	44
宮城県新生物レジストリー資料利用許可申請書研究計画書作成要領	45
宮城県新生物レジストリー資料利用許可申請書	46
調査票見本	47
調査票の記載方法	48

## 平成 10－14 年の罹患数と部位別割合

平成 10－14 年(1998－2002 年)における5年間の主要部位別の罹患数と全部位に対する割合を表1に、部位別割合を図1に示す。また性別・年齢階級別・部位別の罹患表を付表1に罹患率を付表2に示す。

男性の部位別割合は、胃が最も多く22.1%を占め、2位が気管、気管支および肺で14.5%を占める。以下、結腸 12.0%、前立腺 8.4%、直腸 7.2%、肝および肝内胆管 5.3%、食道 5.2%、膵 3.5%などが続く。

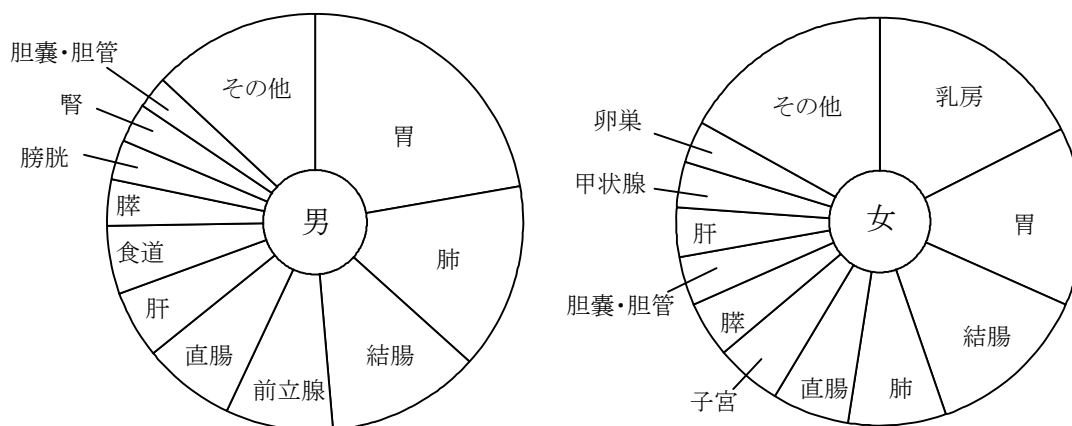
女性では、乳房が最も多く17.4%を占め、2位が胃で14.3%を占める。以下、結腸 12.9%、気管、気管支および肺 7.9%、直腸 6.2%、子宮 5.3%、膵 4.3%、胆嚢および肝外胆管 4.0%、肝および肝内胆管 3.9%、甲状腺 3.6%、などが続く。

男性では特に前立腺がんの増加が顕著であり、平成5－9年(1993－1997 年)と比べ罹患数が約2倍となり順位も7位(4.9%)から4位へと上昇している。また女性では平成5－9年では胃に続く2位であった乳房が平成 10－14 年は罹患数の1位となった。

表1 平成10-14年における性別、主要部位別罹患数および割合

	男		女	
	罹患数	%	罹患数	%
全部位	32,038	100	22,738	100
口唇、口腔および咽頭	653	2.0	283	1.2
食道	1,656	5.2	327	1.4
胃	7,074	22.1	3,250	14.3
結腸	3,852	12.0	2,932	12.9
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	2,316	7.2	1,399	6.2
肝および肝内胆管	1,709	5.3	880	3.9
胆嚢および肝外胆管	819	2.6	913	4.0
膵	1,121	3.5	987	4.3
鼻腔、中耳および副鼻腔	98	0.3	60	0.3
喉頭	354	1.1	25	0.1
気管、気管支および肺	4,637	14.5	1,801	7.9
皮膚	364	1.1	371	1.6
乳房	22	0.1	3,967	17.4
子宮	-	-	1,200	5.3
卵巣	-	-	745	3.3
前立腺	2,688	8.4	-	-
睾丸	151	0.5	-	-
腎およびその他の泌尿器	923	2.9	428	1.9
膀胱	1,032	3.2	376	1.7
脳およびその他の神経系	193	0.6	137	0.6
甲状腺	175	0.5	819	3.6
悪性リンパ腫、細網内皮系腫瘍	772	2.4	632	2.8
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	192	0.6	194	0.9
白血病	434	1.4	341	1.5

図1 平成10-14年におけるがん罹患の部位別割合



## 罹患率と死亡率の年次推移

昭和34年以降の全部位の罹患数と罹患率を表2に示す。昭和42年までは、資料の都合により3年毎にまとめてあるが、43年以降は5年毎にまとめて示した。この際、年齢調整罹患率の計算に用いられた基準人口は「世界人口」であり、かつて故瀬木教授ががん死亡率の国際比較のために基準人口として使用した「1950年世界46国合計人口」を、イギリスのR.Doll卿が年齢階級別の数値を簡略化し「世界人口」と称してがん罹患率の国際比較に用いることを提唱して以来、国際的に広く普及したものである。この基準人口は、がんの罹患率をはじめとして各種の死亡率を国際的に比較する場合に広く用いられており、WHOの統計書でも採用している。

1年平均の罹患数は、男は常に増加を続けており、女も昭和40-42年以降増加している。昭和34-36年と平成10-14年を比較すると、男は5.1倍、女は3.8倍に増えている。この間に人口の増加および高齢化が進んでいるが、人口に対する粗罹患率ではそれぞれ3.7倍、2.8倍の増加であり、さらに各期間の人口の年齢構成を補正して算出した年齢調整罹患率でも男は1.6倍、女は1.3倍となお増加している。また平成5-9年と比較しても平成10-14年は男女とも罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率のいずれも増加している。

**表2** 全部位のがん(悪性新生物)の罹患数、および罹患率の年次的推移

	男			女		
	罹患数	粗罹患率	年齢調整罹患率	罹患数	粗罹患率	年齢調整罹患率
昭和34-36年	3,776 (1,259)	148.3	193.2	3,620 (1,207)	134.9	153.2
37-39年	4,034 (1,345)	158.9	194.2	3,582 (1,194)	133.6	141.2
40-42年	4,319 (1,440)	167.8	192.1	4,178 (1,393)	154.4	153.4
43-47年	7,790 (1,558)	175.2	192.8	6,664 (1,333)	143.3	131.8
48-52年	9,845 (1,969)	205.1	208.9	8,208 (1,642)	165.0	139.0
53-57年	12,753 (2,551)	248.6	231.0	10,312 (2,062)	195.2	151.6
58-62年	16,552 (3,310)	308.9	255.0	12,876 (2,575)	233.1	162.9
63-平成4年	21,161 (4,232)	383.0	277.2	15,586 (3,117)	272.6	171.3
平成5-9年	26,096 (5,219)	455.9	290.5	18,452 (3,690)	311.7	175.2
10-14年	32,038 (6,408)	553.0	303.1	22,738 (4,548)	376.9	192.8

( )内は1年平均罹患数、罹患率は人口10万対、年齢調整罹患率は世界人口を基準とする

男性における主要部位の年齢調整罹患率の年次推移を図2の左、年齢調整死亡率の年次推移を図2の右に、同じく女性における推移を図3に示す。また、詳細部位毎の年齢調整罹患率の推移を付表3に示す。年齢調整死亡率は厚生労働省人口動態統計をもとに算出した。グラフの縦軸は対数目盛を用いてあり、同じ割合の増減が同じ傾斜の折線グラフとして表される。

男性では、全部位の罹患率は増加を続けているが、死亡率は横ばいである。胃は、罹患率と死亡率のいずれも低下傾向にあり、罹患率と比較し死亡率の減少傾向が顕著である。肺は、罹患率と死亡率とも上昇傾向にあったが、近年その傾向が鈍り罹患率、死亡率とも頭打ちとなっている。結腸、直腸、前立腺は、死亡率と比較し罹患率の増加が顕著である。特に前立腺は平成5-9年と比較し、平成10-14年で罹患率が特に増加している。食道は、罹患率は横ばいに対して、死亡率は低下傾向にある。膵は近年罹患率と死亡率のいずれも横ばいであり、胆嚢および肝外胆管は若干の増加傾向にあったが、平成10-14年は5-9年と比較し罹患率、死亡率がともに減少した。白血病は罹患率、死亡率とも近年大きな変動はない。咽頭は死亡率と比較し罹患率の増加傾向が大きい。

女性の全部位の罹患率は若干の上昇傾向にあるが、死亡率はむしろ減少傾向にある。胃は、罹患率と死亡率のいずれも低下傾向にあるが、男性と同様に死亡率の低下傾向が、罹患率と比べ大きい。子宮は、罹患率と死亡率のいずれも低下傾向にあったが、罹患率は近年横ばいである。乳房は、罹患率と死亡率のいずれも上昇傾向にあるが、罹患率の上昇傾向は死亡率より大きく、罹患率では胃に代わって部位別の第一位となっている。肺は、罹患率と死亡率のいずれもやや上昇傾向にある。結腸は死亡率と比べて罹患率の上昇傾向が大きい。直腸の罹患率は上昇傾向にあるが、死亡率は横ばいから減少である。膵は罹患率、死亡率とも若干の増加傾向にある。胆嚢および肝外胆管は罹患率、死亡率とも近年減少に転じている。白血病の罹患率は横ばい、死亡率は昭和50年代より低下傾向にある。食道は、罹患率と死亡率のいずれも低下傾向にある。

図2 主要部位別のがんの年齢調整罹患率および年齢調整死亡率の年次推移・男

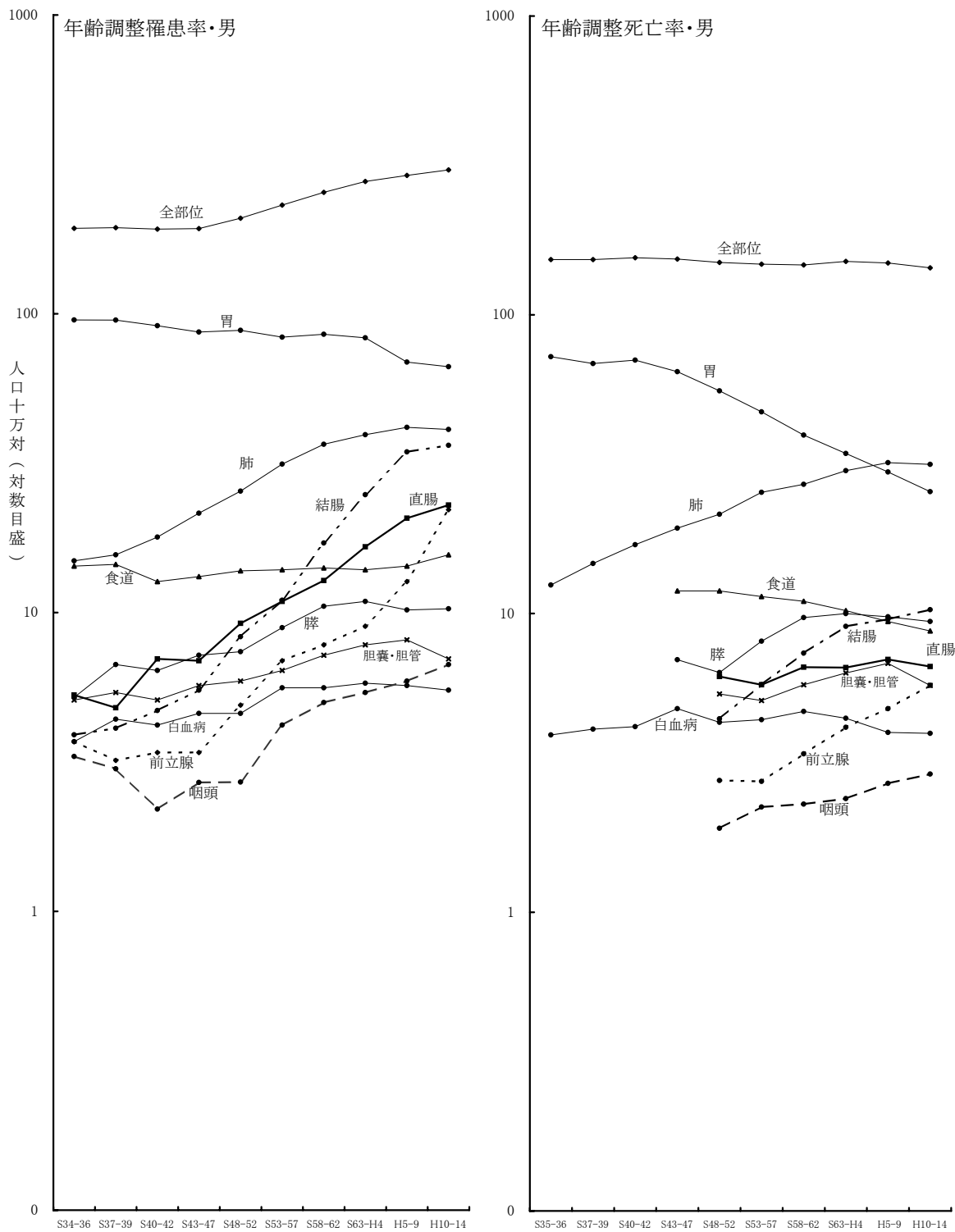
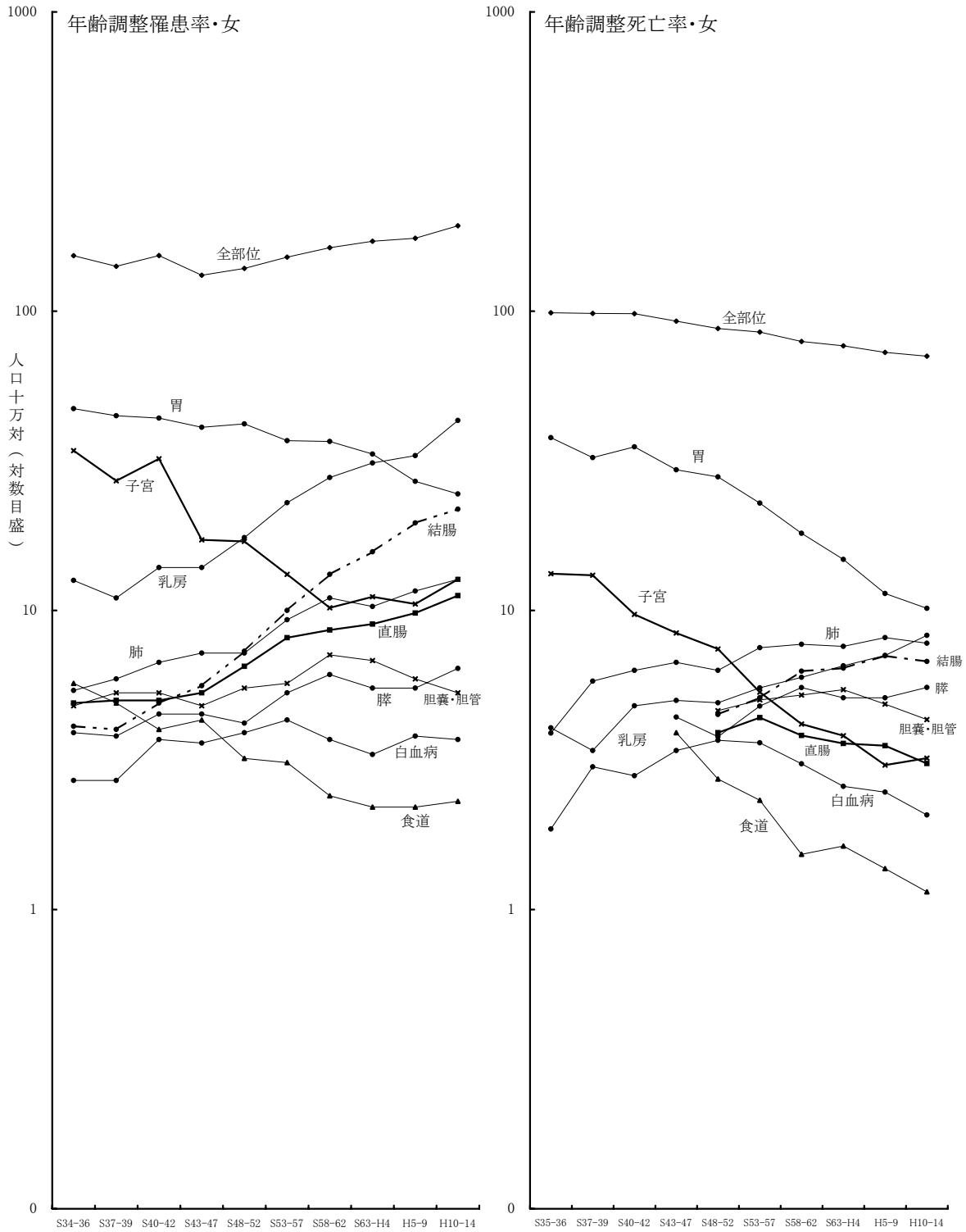




図3 主要部位別のがんの年齢調整罹患率および年齢調整死亡率の年次推移・女



## 登録の精度

宮城県を含むわが国の地域がん登録では、医療施設の自主的な協力を求め患者情報の報告を依頼することによって登録を実施しているため、医師または医療機関にがん患者の報告を義務づけている一部の国と異なり、医療機関を受療した患者のうちどれだけが報告されるかによって登録の信頼性が大きく左右される。本県では、情報収集の手段として医療施設からの任意の報告を受理するだけではなく、積極的に主な医療機関への出張採録を当初から実施し登録精度の向上に努めてきた。

登録精度を表す指標として「死亡診断書の情報のみによるもの(DCO)」の割合が用いられ、この数値の小さい登録ほど精度がよいこととなる。地域がん登録では、登録された患者の情報と死亡診断書(実際には、厚生労働省の許可を受けて「人口動態調査死亡小票」を用いる)の情報を定期的に照合しているが、その際に診断書にがんの記載があるにもかかわらず患者として登録されていないものが判明するので、これを登録患者に追加することとなる。このように死亡診断書の情報によって追加される患者が「死亡診断書の情報のみによるもの」である。

表3に全部位のがんのこの割合の年次推移を示した。昭和30年代は約20%であったが、実施主体が東北大学から宮城県へ移管した時期に当たる昭和43-47年には、一時30%を超えた。その後は急速に改善され、昭和63年-平成4年には9.1%まで低下した。実務担当者の交代時期にあたる平成5-9年には16.5%に上昇したが、平成10-14年は11.7%と改善し、担当者の交代前の水準に近づいている。

平成10-14年における主な部位のこの割合を、表4に示す。DCOの割合は部位によって大きな違いがみられ、睾丸、甲状腺、喉頭、子宮体部、乳房、ホジキン病は3%未満で、登録精度が高いが、脾、多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物、肝および肝内胆管、胆嚢および肝外胆管、白血病についてはDCOの割合が20%を越え精度が劣る。しかしながら平成5-9年と比べるとこれらの部位のDCOの割合は8.9-13.9%低下しいずれも改善を認めている。出張採録を積極的に実施しても採録を実施していない小規模の医療機関だけの受診で終わってしまうような患者の情報が漏れる傾向にあり、精度の改善に向けてさらに努力する必要がある。

表3 「死亡診断書の情報のみによるもの」の割合の年次推移

	死亡診断書の 情報のみによるもの の割合 (%)
昭和34-36年	19.4
37-39年	20.2
40-42年	25.4
43-47年	31.3
48-52年	22.5
53-57年	14.3
58-62年	9.8
63-平成4年	9.1
平成5-9年	16.5
10-14年	11.7

表4 平成10-14年における罹患のうち「死亡診断書の情報のみによるもの」の割合

部 位	%	部 位	%
全部位	11.7	(再掲)子宮頸	4.5
口唇、口腔および咽頭	4.4	(再掲)子宮体	2.6
食道	9.1	卵巣	10.7
胃	12.1	前立腺	8.0
結腸	9.7	睾丸	0.0
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	7.9	腎およびその他の泌尿器	6.8
肝および肝内胆管	24.8	膀胱	8.4
胆嚢および肝外胆管	22.7	脳およびその他の神経系	4.8
膵	28.0	甲状腺	1.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	5.1	ホジキン病	2.9
喉頭	1.3	非ホジキンリンパ腫	7.1
気管、気管支および肺	15.2	多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	26.4
皮膚	3.1	白血病	21.2
乳房	2.7	(再掲)リンパ性白血病	16.5
子宮	7.8	(再掲)骨髄性白血病	19.2

## 診断および治療の詳細

罹患数のうち「顕微鏡学的診断で確認されたもの」が占める割合を全部位および部位毎に表5に示す。顕微鏡学的診断とは組織診と細胞診の双方を含み、本指標は診断の正確性を示す指標として用いられている。宮城県では、この割合は年を経るごとに上昇し、がん診断の正確性が着実に向上していることがわかる。平成10－14年での全部位での割合は72.3%である。

部位別にみると、鼻腔、中耳および副鼻腔、喉頭、皮膚、乳房、睾丸、甲状腺は90%以上を示しており、一方、肝および肝内胆管、胆嚢および肝外胆管、膵、気管、気管支および肺、多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物は50%に達しておらず、部位によって大きな違いが存在している。一般に比較的早期で、根治手術の可能な時期に発見され易い部位のがんでは「顕微鏡学診断で確認されたもの」の割合が高く、早期発見が困難で内科的姑息治療のみが施されることの多い部位では組織診断の実施が少なく、「顕微鏡学的診断で確認されたもの」の割合が低くなる傾向がある。また死亡診断書の情報のみで登録された患者については顕微鏡学的診断の情報がないため、死亡診断書の情報のみで登録された症例の割合が高い場合は診断の正確性が問われることとなる。

**表5** 平成10－14年における罹患のうち「顕微鏡学的診断で確認されたもの」の割合

部 位	%	部 位	%
全部位	72.3	(再掲)子宮頸	81.9
口唇、口腔および咽頭	87.7	(再掲)子宮体	86.7
食道	83.1	卵巣	71.3
胃	82.9	前立腺	81.4
結腸	84.7	睾丸	94.7
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	86.8	腎およびその他の泌尿器	75.3
肝および肝内胆管	23.4	膀胱	82.0
胆嚢および肝外胆管	40.2	脳およびその他の神経系	75.5
膵	27.7	甲状腺	95.1
鼻腔、中耳および副鼻腔	91.1	ホジキン病	82.4
喉頭	91.8	非ホジキンリンパ腫	81.4
気管、気管支および肺	47.9	多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	49.7
皮膚	93.6	白血病	54.6
乳房	90.7	(再掲)リンパ性白血病	60.7
子宮	80.2	(再掲)骨髄性白血病	55.3

平成 10－14 年の罹患登録症例における、臨床進行度別の症例割合を、部位毎に表6に示す。臨床進行度は地域がん登録で広く採用されてきた、がんの拡がりの特徴を分類する指標であり、TNM の改訂等の影響を受けにくく比較継続性が高い指標である。

臨床進行度が判明した症例の割合は、全部位では 70.3%であった。結腸(83.0%)、直腸(82.8%)、乳房(90.6%)、子宮体部(80.3%)、睾丸(84.1%)、甲状腺(83.4%)では、判明した割合が 80%以上で比較的高かった。一方、肝および肝内胆管(34.1%)、脳およびその他の神経系(15.8%)では 40%未満で低かった。

臨床進行度が判明した症例における、「限局」症例の割合は、全部位では 48.0%であった。この割合は喉頭(71.5%)、皮膚(79.9%)、膀胱(77.6%)、脳およびその他の神経系(75.0%)では、70%以上で比較的高かった。一方、胆嚢および肝外胆管(16.6%)、膵(7.3%)、気管、気管支および肺(27.5%)、卵巣(25.8%)では 30%未満で低かった。

臨床進行度が判明した症例における、「遠隔転移」症例の割合は、全部位では 22.7%であった。この割合は膵(60.9%)、気管、気管支および肺(38.2%)で 30%を越え、一方、口唇、口腔および咽頭(6.0%)、喉頭(0.4%)、皮膚(2.5%)、乳房(5.7%)、子宮頸部(9.9%)、子宮体部(5.3%)、膀胱(4.7%)、脳およびその他の神経系(9.6%)、甲状腺(3.0%)では、10%未満と比較的低かった。

表6 平成10－14年における各部位の臨床進行度別割合(%)

部位	届出患者数	不明	判明	(%)	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移
全部位	54,776	16,274	38,502	70.3	48.0	12.1	17.2	22.7
口唇、口腔および咽頭	936	264	672	71.8	32.9	24.9	36.3	6.0
食道	1,983	602	1,381	69.6	35.6	17.2	30.5	16.7
胃	10,324	2,284	8,040	77.9	60.1	11.6	11.2	17.0
結腸	6,784	1,150	5,634	83.0	60.1	12.8	12.9	14.2
直腸	3,715	640	3,075	82.8	56.2	14.3	16.7	12.8
肝および肝内胆管	2,589	1,707	882	34.1	52.6	2.5	22.3	22.6
胆嚢および肝外胆管	1,732	848	884	51.0	16.6	4.4	49.1	29.9
膵	2,108	1,018	1,090	51.7	7.3	4.4	27.3	60.9
喉頭	379	102	277	73.1	71.5	15.2	13.0	0.4
気管、気管支および肺	6,438	2,105	4,333	67.3	27.5	10.7	23.5	38.2
皮膚	735	381	354	48.2	79.9	5.1	12.4	2.5
乳房	3,989	374	3,615	90.6	58.9	29.3	6.0	5.7
子宮	1,200	343	857	71.4	56.7	3.5	31.7	8.1
（再掲）子宮頸	513	151	362	70.6	42.3	4.7	43.1	9.9
（再掲）子宮体	588	116	472	80.3	68.9	2.8	23.1	5.3
卵巣	745	241	504	67.7	25.8	0.8	56.7	16.7
前立腺	2,688	1,149	1,539	57.3	53.3	1.8	15.8	29.2
睾丸	151	24	127	84.1	69.3	7.1	4.7	18.9
腎およびその他の泌尿器	1,351	393	958	70.9	60.4	1.4	21.1	17.1
膀胱	1,408	650	758	53.8	77.6	1.2	16.5	4.7
脳およびその他の神経系	330	278	52	15.8	75.0	0.0	15.4	9.6
甲状腺	994	165	829	83.4	34.7	37.2	25.1	3.0

平成 10—14 年の罹患登録症例における手術を実施した症例の割合を部位別に表7、その詳細を表8に示す。ここでいう「手術」は外科的治療、体腔鏡的治療、内視鏡的治療を含み、表7で示した割合は表8の「病巣切除あり」「病巣切除なし」「病巣切除不明」を合計したものである。手術を施行した症例の割合は、全部位では 68.8%であった。結腸 (92.8%)、直腸(93.7%)、皮膚(93.3%)、乳房(95.4%)、睾丸(98.0%)、甲状腺(95.9%)では、手術施行割合は 90%以上と高かった。一方、肝および肝内胆管(22.7%)、膵(36.1%)、気管、気管支および肺(36.7%)、前立腺(40.1%)では、手術施行割合が 50%未満と低かった。

**表7** 平成10—14年における罹患のうち手術を実施したものの割合(%)

部 位	%
全部位	68.8
口唇、口腔および咽頭	66.6
食道	54.2
胃	82.2
結腸	92.8
直腸	93.7
肝および肝内胆管	22.7
胆嚢および肝外胆管	50.6
膵	36.1
喉頭	67.4
気管、気管支および肺	36.7
皮膚	93.3
乳房	95.4
子宮	77.0
(再掲)子宮頸	64.8
(再掲)子宮体	88.9
卵巣	83.5
前立腺	40.1
睾丸	98.0
腎およびその他の泌尿器	79.6
膀胱	84.2
脳およびその他の神経系	79.4
甲状腺	95.9

表8 平成10－14年における各部位の手術別割合(%)

部位	届出患者数	不明	判明	(%)	病巣切除あり	病巣切除なし	切除不明	なし
全部位	54,776	5,883	48,893	89.3	63.2	3.3	2.3	31.2
口唇、口腔および咽頭	936	55	881	94.1	62.1	2.5	2.0	33.4
食道	1,983	157	1,826	92.1	50.6	2.0	1.6	45.8
胃	10,324	1,118	9,206	89.2	77.7	2.7	1.9	17.8
結腸	6,784	543	6,241	92.0	87.9	2.5	2.5	7.2
直腸	3,715	264	3,451	92.9	87.2	4.1	2.4	6.3
肝および肝内胆管	2,589	561	2,028	78.3	19.8	1.7	1.2	77.3
胆嚢および肝外胆管	1,732	332	1,400	80.8	40.1	5.8	4.7	49.4
膵	2,108	497	1,611	76.4	18.5	12.5	5.1	63.9
喉頭	379	11	368	97.1	60.9	4.1	2.4	32.6
気管、気管支および肺	6,438	878	5,560	86.4	32.1	2.5	2.1	63.3
皮膚	735	38	697	94.8	91.8	0.4	1.0	6.7
乳房	3,989	123	3,866	96.9	93.3	0.2	1.9	4.6
子宮	1,200	96	1,104	92.0	74.5	1.3	1.2	23.0
（再掲）子宮頸	513	30	483	94.2	62.5	1.0	1.2	35.2
（再掲）子宮体	588	22	566	96.3	86.6	1.6	0.7	11.1
卵巣	745	72	673	90.3	75.0	3.9	4.6	16.5
前立腺	2,688	310	2,378	88.5	30.2	7.7	2.3	59.8
睾丸	151	0	151	100.0	92.1	1.3	4.6	2.0
腎およびその他の泌尿器	1,351	84	1,267	93.8	76.9	1.2	1.5	20.4
膀胱	1,408	109	1,299	92.3	80.5	0.6	3.1	15.8
脳およびその他の神経系	330	14	316	95.8	66.5	3.2	9.8	20.6
甲状腺	994	13	981	98.7	94.2	0.6	1.1	4.1

## がん検診の寄与

平成 10－14 年の罹患登録症例における、検診で発見された症例の割合を、部位ごとに表9に示す。ここでいう「検診」は、がん検診と、人間ドックを含む健康診断の双方が含まれている。また、女性乳房と子宮頸部について、本報告の他の集計では上皮内がんを除く浸潤がんのみについての数値を示しているが、検診の寄与に関する集計(表9、図4、付表5)にかぎり、上皮内がんと浸潤がんを合わせた集計結果を示す。

検診で発見された症例は、全部位では 16.7%であった。市町村による集団検診が広く実施されている部位では、子宮体部(15.0%)以外の胃(24.9%)、結腸(24.8%)、直腸(20.9%)、気管、気管支および肺(20.7%)、女性乳房(22.4%、上皮内がん含む)、子宮頸部(39.1%、上皮内がん含む)で検診発見がんの占める割合が 20%を超えている。その他の部位の中では、食道(11.9%)、前立腺(11.9%)、腎およびその他の泌尿器(10.7%)、甲状腺(30.5%)で検診発見がんの割合が比較的高かった。

これまで市町村による集団検診が広く実施されてきた部位および近年市町村で PSA による検診を開始するところが増えている前立腺について、罹患症例に占める検診発見症例の割合を平成5－9年と平成 10－14 年で比較した結果を図4に示す。検診発見症例の割合は、胃、結腸、直腸、肺では両期間で大きな変化がない一方、前立腺で顕著に増加、女性乳房および子宮体部でやや増加し、子宮頸部ではやや減少している。



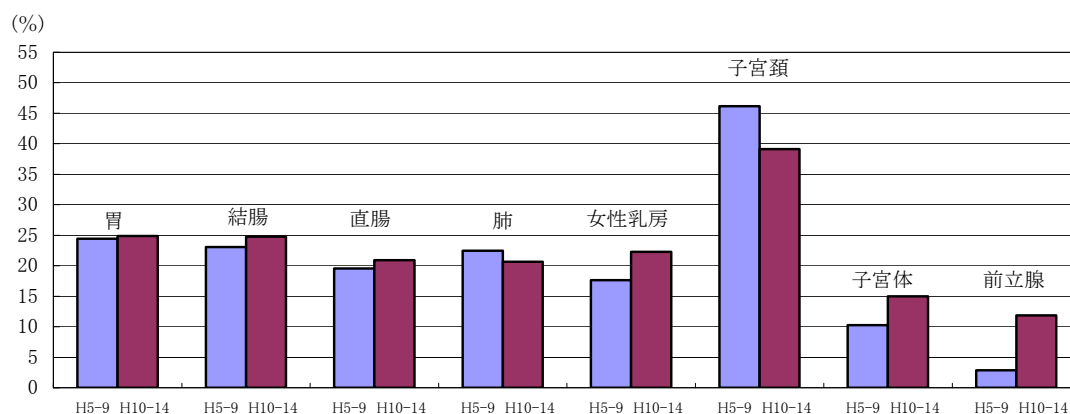
**表9** 平成10－14年における罹患のうち  
検診で発見されたものの割合(%)

部 位	%
全部位 <sup>1)</sup>	16.7
口唇、口腔および咽頭	0.5
食道	11.9
胃	24.9
結腸	24.8
直腸	20.9
肝および肝内胆管	2.4
胆嚢および肝外胆管	2.8
膵	2.4
喉頭	2.4
気管、気管支および肺	20.7
皮膚	0.4
女性乳房 <sup>2)</sup>	22.4
子宮 <sup>2)</sup>	29.3
(再掲)子宮頸 <sup>2)</sup>	39.1
(再掲)子宮体	15.0
卵巣	4.6
前立腺	11.9
睾丸	1.3
腎およびその他の泌尿器	10.7
膀胱	5.1
脳およびその他の神経系	0.3
甲状腺	30.5

1) 子宮頸部・女性乳房の上皮内がんを含む

2) 上皮内がんを含む

**図4** 検診発見割合の比較



## がん罹患者の5年生存率

平成5－9年に診断された症例の全部位および部位毎の5年実測ならびに相対生存率を表 10 に示す。その際、登録症例の生死の確認は、医療施設からの情報に加え、「人口動態調査死亡小票」との照合により実施した。また集計にあたっては、登録情報が死亡診断書の情報のみの症例、第2がん以降の症例、大腸の粘膜がんは対象から除いた。生存率の計算にはカプラン・マイヤー法を用い、Ederer II 法により実測生存率を期待生存率で除した相対生存率を算出した。

全部位の相対生存率は男性 53.4%、女性 63.6%であり女性で高い。部位別には、男性では喉頭(82.3%)、皮膚(81.3%)、膀胱(81.5%)、甲状腺(89.9%)で 80%以上であり、一方、肝および肝内胆管(21.4%)、胆嚢および肝外胆管(23.6%)、膵(8.5%)、気管、気管支および肺(25.2%)で 30%未満である。女性では喉頭(85.9%)、皮膚(90.7%)、乳房(86.1%)、甲状腺(96.4%)が 80%を超え、肝および肝内胆管(21.6%)、胆嚢および肝外胆管(23.8%)、膵(8.2%)が 30%を下回る。

表 11 に、全部位および食道、胃、結腸、直腸、肝および肝内胆管、気管、気管支および肺、子宮、女性乳房、前立腺について臨床進行度別の5年相対生存率を示す。「限局」の5年相対生存率は、食道(男性 67.0%、女性 69.1%)、肝および肝内胆管(男性 37.4%、女性 44.1%)、気管、気管支および肺(男性 77.5%、女性 86.5%)を除き、全部位も含め 90%以上である。「領域」および「遠隔転移」の生存率は「限局」に比べ低下し、「遠隔転移」の5年相対生存率は全部位の男性で 14.1%、女性で 16.4%である。部位別には前立腺(35.0%)および女性乳房(29.7%)を除き 15%未満である。

**表10** 平成5－9年がん罹患者の部位別5年生存率

部位	男			女		
	対象数	実測生存率	相対生存率	対象数	実測生存率	相対生存率
全部位	19,143	45.6	53.4	14,044	58.4	63.6
口唇・口腔および咽頭	453	47.2	53.3	185	58.4	65.0
食道	993	27.9	32.4	206	36.9	41.5
胃	5,191	57.8	67.2	2,434	59.1	65.5
結腸 <sup>1)</sup>	1,784	61.2	71.3	1,460	61.2	68.4
直腸 <sup>1)</sup>	1,275	59.3	67.8	776	59.9	65.9
肝および肝内胆管	1,024	18.8	21.4	413	19.4	21.6
胆嚢および肝外胆管	485	19.4	23.6	511	20.2	23.8
膵	533	7.1	8.5	387	7.2	8.2
喉頭	301	70.4	82.3	17	76.5	85.9
気管、気管支および肺	2,921	21.0	25.2	1,008	27.7	30.8
皮膚	235	65.1	81.3	216	73.1	90.7
女性乳房	-	-	-	2,758	82.8	86.1
子宮	-	-	-	848	67.1	70.5
卵巣	-	-	-	482	53.1	55.2
前立腺	1,044	53.4	70.6	-	-	-
腎ならびにその他および部位不明の泌尿器	491	61.9	69.9	240	56.7	62.0
膀胱	667	67.8	81.5	220	67.3	77.2
脳およびその他の神経系	160	40.0	42.0	107	40.2	42.1
甲状腺	114	82.5	89.9	714	93.1	96.4
悪性リンパ腫	416	44.7	50.0	368	46.5	50.9
白血病	275	33.5	36.6	196	38.3	40.5

1) 粘膜がんを除く

**表11** 平成5－9年がん罹患者の臨床進行度別5年相対生存率

性別	部位	対象数	限局	領域 <sup>2)</sup>	遠隔転移	不明
男	全部位	19,143	90.6	44.5	14.1	47.6
	食道	993	67.0	27.7	3.9	24.7
	胃	5,191	96.7	45.3	3.1	64.9
	結腸 <sup>1)</sup>	1,784	98.3	71.0	10.4	73.9
	直腸 <sup>1)</sup>	1,275	97.0	62.4	10.7	65.5
	肝および肝内胆管	1,024	37.4	16.0	4.1	19.1
	気管、気管支および肺	2,921	77.5	21.1	1.9	26.3
	前立腺	1,044	99.0	80.9	35.0	75.6
女	全部位	14,044	93.1	62.9	16.4	56.3
	食道	206	69.1	36.7	0.0	38.9
	胃	2,434	97.7	50.0	7.9	56.8
	結腸 <sup>1)</sup>	1,460	97.5	72.8	12.2	69.2
	直腸 <sup>1)</sup>	776	94.2	63.3	11.9	63.1
	肝および肝内胆管	413	44.1	0.0	0.0	19.1
	気管、気管支および肺	1,008	86.5	18.6	2.6	28.2
	乳房	2,758	96.1	81.9	29.7	85.2
	子宮	848	90.2	49.1	11.1	72.4

1) 粘膜がんを除く

2) 「領域」=「所属リンパ節転移」および「隣接臓器浸潤」

## 市町村別観察

### 1 標準化罹患比

がん罹患の県内における地域差を観察するために、平成10～14年の主要部位の標準化罹患比を算出した。同期間における宮城県合計の性別、年齢5歳階級別罹患率を平成12年の国勢調査による各市区町村の性別、年齢階級別人口に適用して男女合計の期待罹患数を計算し、実際の罹患数と期待値との比を求め百分率で表したものである。これは、県合計の罹患率を100とする場合の各市区町村の標準化罹患率の相対比である。なお市町村区分は平成14年末時点を基準とした。

図5と付表4に、全部位および主要部位に関する、5年間の男女合計の罹患数と標準化罹患比を示す。標準化比の統計的有意性は、95%信頼区間によって検定し、有意水準は両側5%となる。以下、標準化罹患比が有意に100より高値または低値を示した市町村を示す。

全部位は、仙台市青葉区、宮城野区、若林区、塩釜市、多賀城市、亘理町、鹿島台町、築館町、高清水町、瀬峰町、雄勝町が100より高い。石巻市、古川市、名取市、岩沼市、蔵王町、丸森町、山元町、大和町、大郷町、岩出山町、南郷町、若柳町、栗駒町、金成町、志波姫町、東和町、中田町、豊里町、河北町、河南町、津山町が100より低い。

食道は、仙台市若林区、塩釜市、小牛田町、栗駒町、高清水町、瀬峰町、東和町が100より高い。宮崎町が100より低い。

胃は、塩釜市、多賀城市、松島町、中新田町、宮崎町、色麻町、築館町、高清水町、瀬峰町、花山村、迫町、南方町が100より高い。仙台市泉区、石巻市、栗駒町、東和町、中田町が100より低い。

結腸は、仙台市青葉区、宮城野区、若林区、太白区、泉区、塩釜市が100より高い。石巻市、角田市、岩沼市、大河原町、大和町、大郷町、岩出山町、栗駒町、志波姫町、迫町、登米町、東和町、河北町、矢本町、桃生町、志津川町、本吉町、歌津町が100より低い。仙台市を中心とした都市部に高いという明らかな傾向が認められる。

直腸は、仙台市青葉区、宮城野区、鹿島台町が100より高い。石巻市、名取市、大和町、栗駒町、矢本町、桃生町、鳴瀬町、志津川町が100より低い。

肝および肝内胆管は、亙理町、鳴子町、涌谷町、瀬峰町、雄勝町が 100 より高い。気仙沼市、白石市、角田市、色麻町、栗駒町、河南町、牡鹿町が 100 より低い。顕著に高率な地域が一定の地域に集積することなく散在している。

胆嚢および肝外胆管は、涌谷町、南郷町、高清水町、南方町、河南町、北上町、牡鹿町、本吉町が 100 より高い。唐桑町が 100 より低い。高率地域が県北部に集積している。

膵は、七ヶ宿町、岩出山町が 100 より高い。

気管、気管支および肺は、七ヶ浜町、色麻町、松山町、矢本町、桃生町が 100 より高い。気仙沼市、岩出山町、小牛田町が 100 より低い。

女性乳房は、仙台市青葉区、宮城野区、若林区、泉区、塩釜市、雄勝町が 100 より高い。古川市、大和町、大郷町、中新田町、小野田町、三本木町、南郷町、若柳町、栗駒町が 100 より低い。仙台市を中心とした都市部に高いのが結腸と類似している。

子宮は、塩釜市、本吉町が 100 より高い。

前立腺は、仙台市青葉区、宮城野区、若林区、白石市、七ヶ宿町、花山村、中田町、唐桑町が 100 より高い。石巻市、塩釜市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町、南方町、矢本町、河南町、鳴瀬町が 100 より低い。

以上の結果について、統計的に有意性が認められても、必ずしもその市区町村が常に高いまたは低い罹患率を示すことを意味するものではない。なお、平成5-9年について同様の検討を行った結果は平成13年に本委員会が刊行した「宮城県のがん 1993-1997」に掲載されている。

図5 平成10-14年における市区町村別、主要部位別がん標準化罹患比

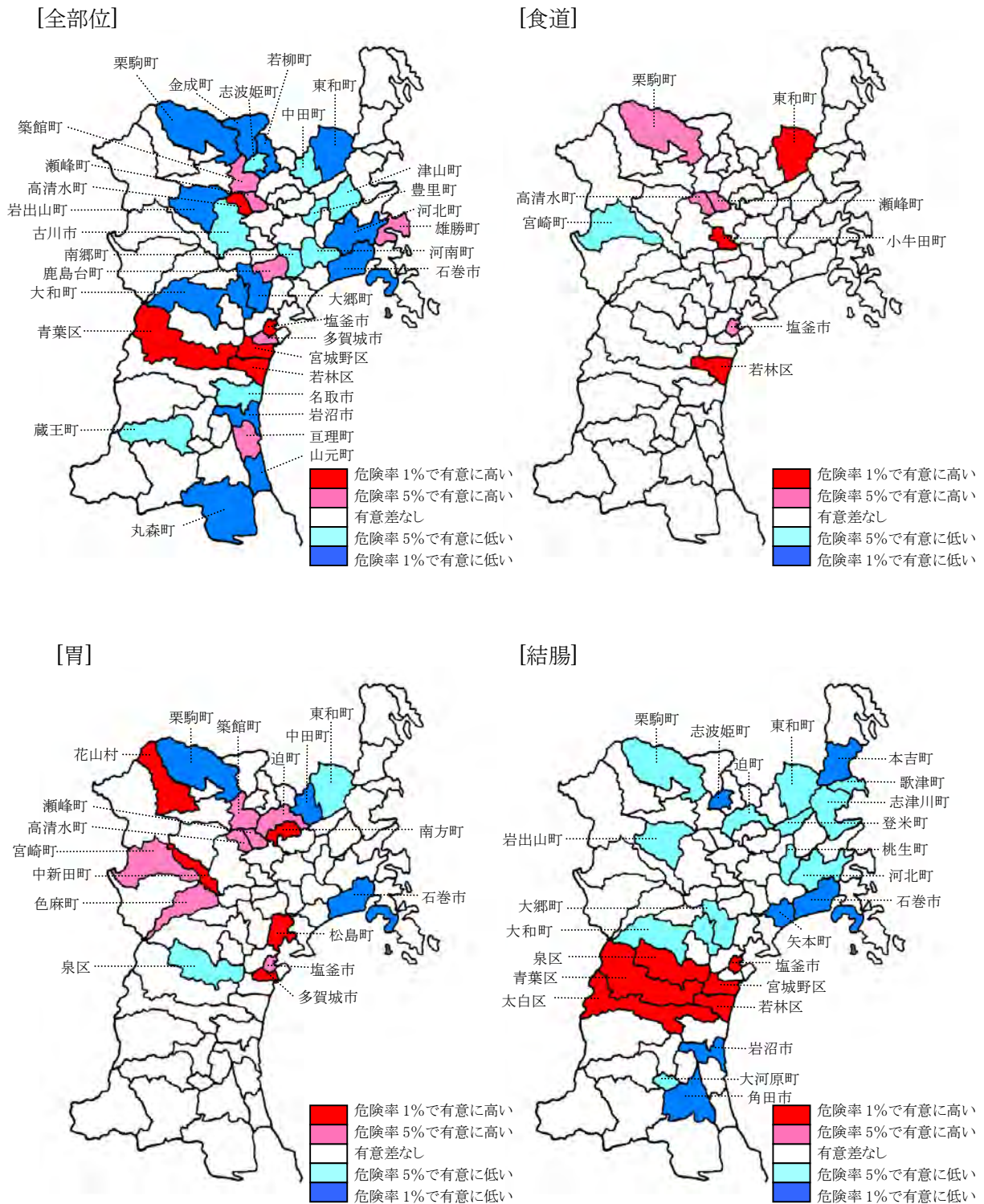
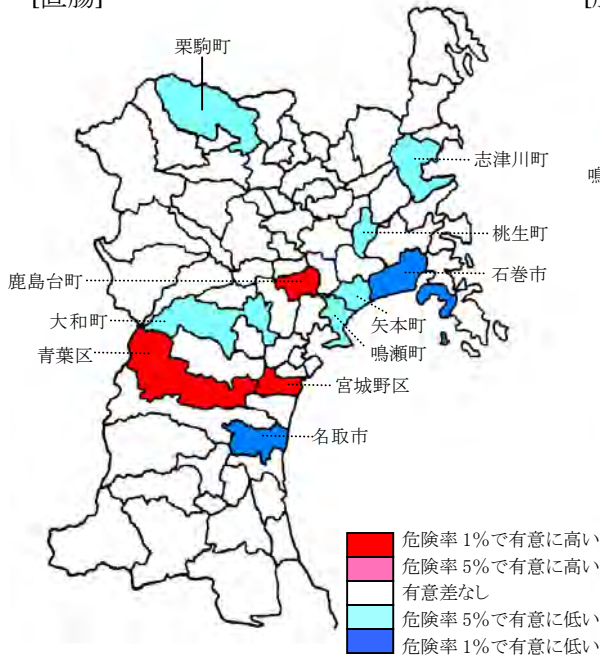
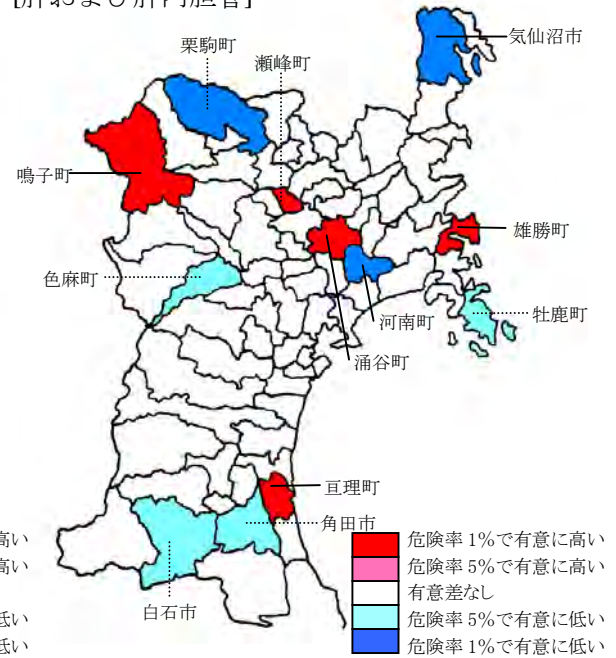


図 5(続き)

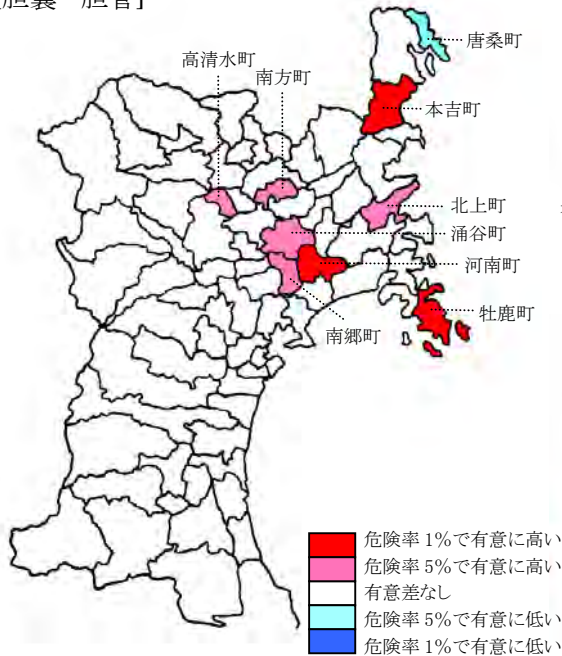
[直腸]



[肝および肝内胆管]



[胆嚢・胆管]



[膵]

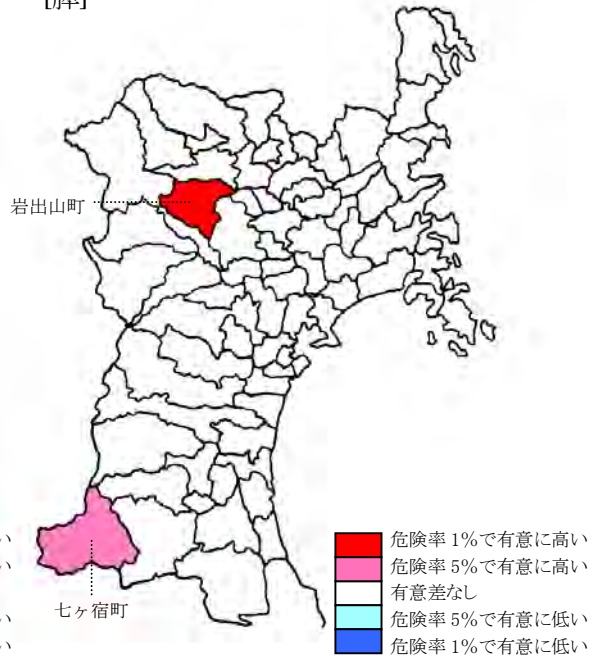
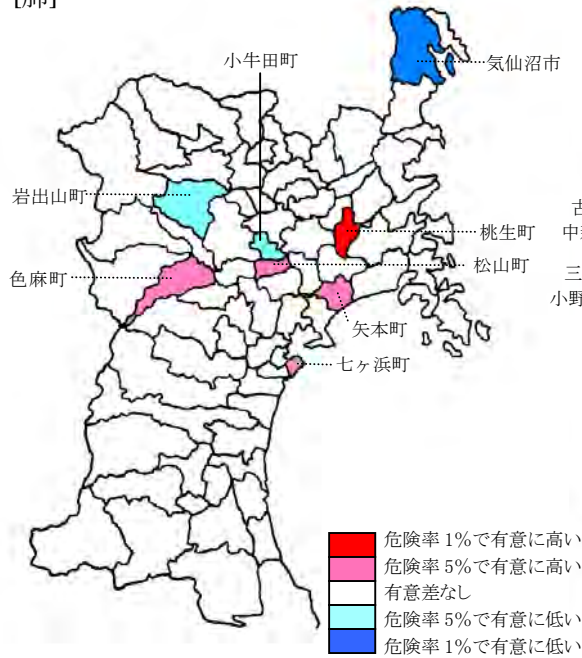


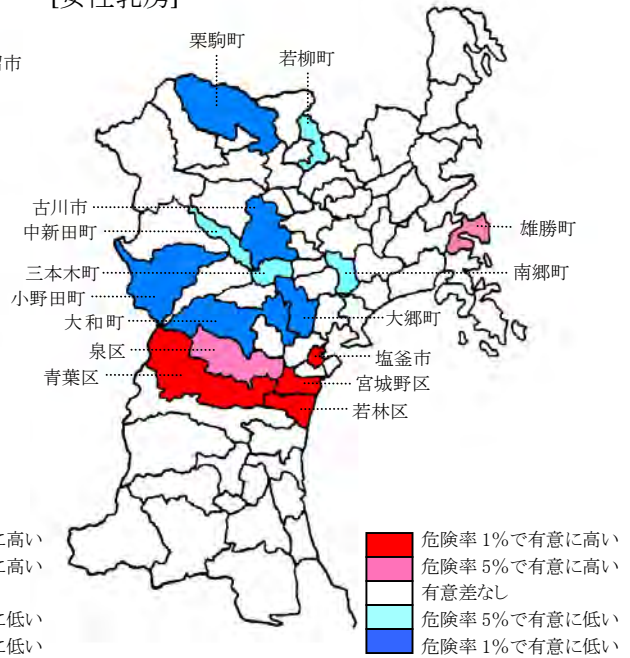


図 5(続き)

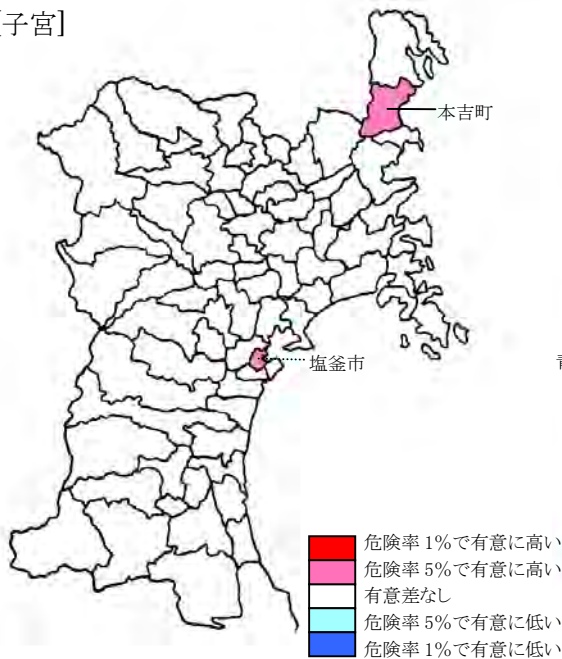
[肺]



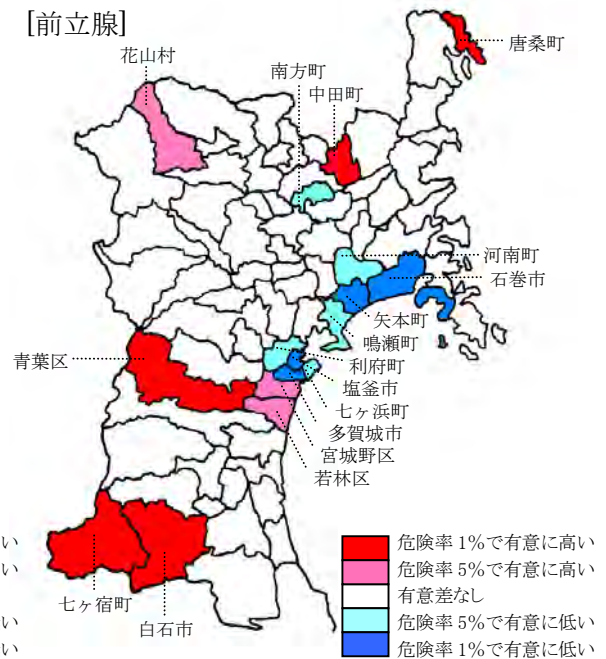
[女性乳房]



[子宮]



[前立腺]





## 2 検診発見割合

平成 10－14 年の罹患登録症例のうち、以前より市町村による集団検診が広く実施されている部位および近年 PSA による検診が普及しつつある前立腺について、罹患症例総数、検診発見症例数とその割合を、市町村別に付表5に示す。

胃では、検診発見割合が高かったのは、南方町(44.3%)、石越町(41.7%)、高清水町(43.2%)、七ヶ宿町(40.0%)、登米町(38.7%)であった。検診発見割合が低かったのは、本吉町(10.9%)、蔵王町(11.3%)、南郷町(12.9%)、栗駒町(13.3%)、雄勝町(13.5%)であった。

結腸では、検診発見割合が高かったのは、石越町(60.0%)、東和町(54.2%)、松山町(52.9%)、七ヶ宿町(50.0%)、鶯沢町(50.0%)であった。検診発見割合が低かったのは、大郷町(4.8%)、岩出山町(7.3%)、志波姫町(10.0%)、津山町(10.0%)、宮崎町(11.1%)、豊里町(11.1%)であった。

直腸では、検診発見割合が高かったのは、鳴瀬町(54.5%)、石越町(53.8%)、大和町(50.0%)、金成町(50.0%)、一迫町(46.4%)、であった。検診発見割合が低かったのは、大郷町(0.0%)、米山町(0.0%)、本吉町(3.6%)、志津川町(5.9%)、矢本町(6.7%)であった。

肺では、検診発見割合が高かったのは、七ヶ宿町(56.3%)、花山村(50.0%)、小野田町(44.4%)、宮崎町(43.8%)、三本木町(42.9%)であった。検診発見割合が低かったのは、雄勝町(4.5%)、鹿島台町(7.4%)、松島町(8.1%)、大和町(8.7%)、歌津町(8.7%)であった。

女性乳房では、検診発見割合が高かったのは、七ヶ宿町(50.0%)、栗駒町(50.0%)、米山町(47.8%)、大和町(46.7%)、瀬峰町(46.2%)であった。検診発見割合が低かったのは、鳴子町(0.0%)、花山村(0.0%)、唐桑町(0.0%)、多賀城市(8.3%)、川崎町(11.1%)であった。

子宮頸部では、検診発見割合が高かったのは、三本木町(100%)、南郷町(100%)、高清水町(100%)、豊里町(100%)、鳴瀬町(100%)、北上町(100%)、歌津町(100%)であった。検診発見割合が低かったのは、七ヶ宿町、松島町、大郷町、鳴子町、若柳町、一迫町、沢町、志波姫町、登米町、雄勝町、唐桑町でいずれも0%であった。

子宮体部では、検診発見割合が高かったのは、豊里町(100%)、米山町(100%)、石越町(100%)、牡鹿町(100%)、七ヶ浜町(50.0%)、大衡村(50.0%)、色麻町(50.0%)であった。検診発見割合が低かったのは、0%の 27 町であった。

前立腺では、検診発見割合が高かったのは、中田町(74.5%)、七ヶ宿町(57.1%)、金成町(50.0%)、津山町(50.0%)、名取市(42.0%)であった。検診発見割合が低かったのは、2市 15 町 1 村の 0%であった。

付表1 平成10-14年における各部位の年齢階級別罹患数・男性

部位	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85+	総計
口唇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	2	8
舌	0	0	0	0	1	3	3	5	3	12	18	23	18	17	15	12	4	8	142
口腔	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	7	18	20	17	35	15	8	10	139
唾液腺	0	0	1	0	0	0	1	0	3	5	2	5	2	4	11	8	6	1	49
中咽頭	0	0	0	0	0	3	0	1	4	9	11	9	17	24	21	12	4	4	119
鼻咽頭	0	0	0	1	1	3	1	1	4	5	5	4	4	6	5	3	0	0	43
下咽頭	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	13	20	23	32	20	16	9	3	143
その他および不明の口腔・咽頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	3	3	0	0	10
食道	0	0	0	0	1	0	2	2	12	36	110	177	239	332	319	234	122	70	1,656
胃	0	0	0	0	3	7	12	58	115	261	477	587	895	1,256	1,373	1,017	609	404	7,074
小腸	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4	6	7	10	10	20	11	7	4	82
結腸	0	0	0	0	2	7	8	30	66	129	250	330	476	720	789	526	311	208	3,852
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	0	0	0	1	1	1	9	22	50	111	199	278	346	406	395	267	139	91	2,316
肝および肝内胆管	4	1	0	1	1	2	2	7	21	64	132	179	231	364	299	196	131	74	1,709
胆嚢および肝外胆管	0	0	0	0	0	0	0	1	2	12	32	37	73	109	178	156	114	105	819
膵臓	0	0	1	0	0	0	1	4	14	34	72	95	134	159	232	177	115	83	1,121
鼻腔、中耳および副鼻腔	1	0	0	1	0	0	1	1	2	7	10	18	10	18	11	8	7	3	98
喉頭	0	0	0	0	0	0	1	0	5	13	29	39	41	81	70	44	21	10	354
気管、気管支および肺	0	0	0	0	1	1	5	19	46	108	221	269	450	797	1,047	837	506	330	4,637
胸腺および胸腔内臓器	0	0	0	2	2	3	1	1	3	4	7	5	5	10	7	9	1	2	62
骨	0	5	5	6	3	3	3	2	2	2	3	5	6	3	3	3	1	1	56
皮膚の黒色腫	1	0	0	1	1	3	4	2	2	2	5	5	7	5	7	7	4	1	57
皮膚その他	0	0	0	0	1	1	1	6	2	15	18	15	31	50	45	45	32	45	307
中皮腫	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	7	4	7	6	5	3	3	40
カボジ肉腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
結合組織、他軟部組織	1	0	0	0	2	2	2	8	4	9	10	9	7	14	10	6	3	7	94
乳房	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	5	5	4	0	1	3	22
陰茎	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	6	3	4	6	4	1	28
前立腺	0	1	0	0	0	1	1	0	1	7	28	87	221	429	685	598	373	256	2,688
睪丸	2	0	1	4	13	36	27	30	17	10	5	1	1	2	0	0	0	2	151
他男性性器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	4	2	0	2	15
腎およびその他の泌尿器	2	0	1	0	0	2	10	14	27	49	60	89	121	172	166	119	55	36	923
膀胱	0	0	1	0	0	2	4	10	19	27	48	62	108	174	191	207	99	80	1,032
眼	4	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	1	0	2	1	5	2	0	21
脳およびその他の神経系	8	6	6	6	8	12	6	12	11	12	9	16	20	19	16	17	7	2	193
甲状腺	0	1	0	4	1	5	5	9	12	21	15	18	19	11	24	13	11	6	175
その他の内分泌腺	11	0	4	4	3	0	0	0	2	3	2	0	3	2	2	2	0	0	38
ホジキン病	0	0	0	4	3	7	1	1	1	2	2	3	2	2	3	4	5	1	41
非ホジキンリンパ腫	2	0	1	11	7	5	10	11	31	42	63	74	68	104	104	100	55	43	731
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	7	10	24	30	44	22	31	18	192
リンパ性白血病	8	11	4	7	4	3	2	1	0	5	7	8	7	9	18	8	5	7	114
骨髄性白血病	2	2	2	2	7	6	5	7	14	20	15	18	20	42	38	23	17	16	256
単球性白血病	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	2	0	0	1	11
その他の白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	1	3	1	1	9
細胞形態不明の白血病	1	2	2	0	0	1	0	0	0	1	3	2	2	4	8	3	8	7	44
他および部位不明	2	0	0	0	0	1	5	3	9	11	22	32	30	53	55	58	41	44	366
全部位	50	30	29	55	67	122	135	269	519	1,069	1,932	2,567	3,709	5,516	6,293	4,808	2,873	1,995	32,038

付表1 平成10-14年における各部位の年齢階級別罹患数・女性

部位	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85+	総計
口唇	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	7
舌	0	0	0	0	1	1	2	2	2	2	4	15	8	17	10	10	9	13	96
口腔	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	9	6	11	14	20	10	18	93
唾液腺	0	0	0	1	1	0	1	1	2	0	3	3	6	5	6	3	1	1	34
中咽頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	2	1	1	1	0	13
鼻咽頭	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	4	0	0	0	4	1	0	0	13
下咽頭	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	2	2	8	4	3	1	1	25
その他および不明の口腔・咽頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
食道	0	0	1	0	0	0	0	3	2	8	12	22	36	48	51	53	35	56	327
胃	0	0	0	1	6	14	23	42	96	148	174	218	316	402	513	506	384	407	3,250
小腸	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	3	2	6	7	7	6	4	45
結腸	0	0	0	0	3	6	8	22	49	115	164	222	306	411	530	422	327	347	2,932
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	0	0	0	0	3	6	3	12	33	68	129	137	157	198	187	186	134	146	1,399
肝および肝内胆管	0	0	0	0	0	0	0	0	3	18	17	41	76	151	164	164	133	113	880
胆嚢および肝外胆管	0	0	0	0	0	0	0	1	3	7	20	32	64	92	159	178	157	200	913
膵臓	0	1	0	0	0	0	5	6	7	18	39	51	84	109	150	179	170	168	987
鼻腔、中耳および副鼻腔	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	1	6	5	8	10	11	7	7	60
喉頭	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	2	11	0	4	2	0	25
気管、気管支および肺	0	0	0	0	0	2	6	7	25	53	102	111	173	251	299	284	225	263	1,801
胸腺および胸腔内臓器	2	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	3	8	1	8	4	4	2	38
骨	0	2	3	1	3	1	2	0	2	2	4	2	1	3	1	1	1	0	29
皮膚の黒色腫	1	0	0	0	1	1	3	3	5	4	6	3	10	5	3	3	4	5	57
皮膚その他	1	0	0	0	1	2	3	3	6	9	10	12	18	25	38	44	48	94	314
中皮腫	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	1	5	0	3	0	1	14
カボジ肉腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結合組織、他軟部組織	1	1	1	2	5	4	3	3	9	3	9	3	5	11	9	9	5	6	89
乳房	0	0	0	0	1	29	94	186	366	655	550	425	448	425	323	239	130	96	3,967
外陰、膣、他女性性器	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	5	3	10	11	11	11	9	13	77
子宮頸部	0	0	0	0	0	15	54	76	56	56	47	27	33	35	35	29	24	26	513
子宮体部	0	0	0	0	1	3	12	9	21	57	97	95	92	80	53	34	21	13	588
子宮部位不明	0	0	0	0	0	1	2	2	2	5	8	7	5	9	9	6	14	29	99
卵巣	0	2	3	7	10	20	35	34	42	79	111	75	70	76	61	49	39	32	745
胎盤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
腎およびその他の泌尿器	3	1	0	1	2	0	3	3	10	20	29	30	42	58	75	61	53	37	428
膀胱	0	0	0	0	1	0	1	0	3	12	10	15	24	44	64	75	45	82	376
眼	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	6
脳およびその他の神経系	3	5	9	3	10	5	6	6	8	8	14	14	8	12	11	8	5	2	137
甲状腺	0	0	2	3	10	20	22	46	75	106	105	100	89	100	76	36	18	11	819
その他の内分泌腺	4	0	3	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	2	1	2	0	0	18
ホジキン病	0	0	1	3	3	6	0	3	0	0	2	0	1	4	2	0	0	2	27
非ホジキンリンパ腫	1	2	1	5	5	2	6	16	27	28	44	46	59	79	101	93	58	32	605
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	5	14	13	26	38	47	25	18	194
リンパ性白血病	7	3	4	5	2	1	3	0	3	3	11	5	12	15	11	10	10	5	110
骨髄性白血病	2	2	1	3	3	6	5	7	7	7	11	12	24	29	18	17	13	9	176
単球性白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	1	2	7
その他の白血病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	2	1	1	3	0	1	15
細胞形態不明の白血病	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	3	0	7	5	11	33
他および部位不明	4	0	0	0	1	2	2	4	7	8	9	20	30	38	32	57	52	86	352
全部位	32	20	30	36	75	148	305	498	881	1,522	1,787	1,795	2,253	2,830	3,091	2,886	2,188	2,361	22,738

付表2 平成10-14年における各部位の年齢階級別罹患率、粗罹患率および年齢調整罹患率・男性

部位	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85+	粗罹患率	年齢調整罹患率
口唇	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.3	0.8	0.6	1.2	3.6	0.1	0.1
舌	-	-	-	-	0.2	0.7	0.8	1.4	0.8	2.7	3.9	6.5	5.6	5.6	5.9	7.6	4.7	14.3	2.5	1.5
口腔	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	1.6	1.5	5.1	6.2	5.6	13.7	9.5	9.5	17.9	2.4	1.3
唾液腺	-	-	0.3	-	-	-	0.3	-	0.8	1.1	0.4	1.4	0.6	1.3	4.3	5.1	7.1	1.8	0.8	0.5
中咽頭	-	-	-	-	-	0.7	-	0.3	1.0	2.0	2.4	2.6	5.3	7.9	8.2	7.6	4.7	7.2	2.1	1.2
鼻咽頭	-	-	-	0.2	0.2	0.7	0.3	0.3	1.0	1.1	1.1	1.1	1.2	2.0	2.0	1.9	-	-	0.7	0.5
下咽頭	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.8	0.7	2.8	5.7	7.2	10.6	7.8	10.1	10.7	5.4	2.5	1.4
その他および不明の口腔・咽頭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	0.3	0.7	1.2	1.9	-	-	0.2	0.1
食道	-	-	-	-	0.2	-	0.5	0.5	3.1	8.0	23.9	50.2	74.6	109.5	125.1	148.4	144.8	125.2	28.6	15.6
胃	-	-	-	-	0.7	1.6	3.2	15.7	29.5	58.3	103.4	166.6	279.4	414.2	538.3	645.0	722.8	722.4	122.1	66.5
小腸	-	-	-	-	-	0.2	-	-	0.5	0.9	1.3	2.0	3.1	3.3	7.8	7.0	8.3	7.2	1.4	0.8
結腸	-	-	-	-	0.4	1.6	2.1	8.1	16.9	28.8	54.2	93.6	148.6	237.4	309.4	333.6	369.1	371.9	66.5	36.3
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	-	-	-	0.2	0.2	0.2	2.4	6.0	12.8	24.8	43.2	78.9	108.0	133.9	154.9	169.3	165.0	162.7	40.0	22.9
肝および肝内胆管	1.4	0.3	-	0.2	0.2	0.5	0.5	1.9	5.4	14.3	28.6	50.8	72.1	120.0	117.2	124.3	155.5	132.3	29.5	16.6
胆嚢および肝外胆管	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.5	2.7	6.9	10.5	22.8	35.9	69.8	98.9	135.3	187.8	14.1	7.0
膵臓	-	-	0.3	-	-	-	0.3	1.1	3.6	7.6	15.6	27.0	41.8	52.4	91.0	112.3	136.5	148.4	19.4	10.3
鼻腔、中耳および副鼻腔	0.4	-	-	0.2	-	-	0.3	0.3	0.5	1.6	2.2	5.1	3.1	5.9	4.3	5.1	8.3	5.4	1.7	1.0
喉頭	-	-	-	-	-	-	0.3	-	1.3	2.9	6.3	11.1	12.8	26.7	27.4	27.9	24.9	17.9	6.1	3.4
気管、気管支および肺	-	-	-	-	0.2	0.2	1.3	5.2	11.8	24.1	47.9	76.3	140.5	262.8	410.5	530.9	600.5	590.1	80.0	41.0
胸腺および胸腔内臓器	-	-	-	0.5	0.4	0.7	0.3	0.3	0.8	0.9	1.5	1.4	1.6	3.3	2.7	5.7	1.2	3.6	1.1	0.7
骨	-	1.7	1.5	1.4	0.7	0.7	0.8	0.5	0.5	0.4	0.7	1.4	1.9	1.0	1.2	1.9	1.2	1.8	1.0	0.9
皮膚の黒色腫	0.4	-	-	0.2	0.2	0.7	1.1	0.5	0.5	0.4	1.1	1.4	2.2	1.6	2.7	4.4	4.7	1.8	1.0	0.7
皮膚その他	-	-	-	-	0.2	0.2	0.3	1.6	0.5	3.4	3.9	4.3	9.7	16.5	17.6	28.5	38.0	80.5	5.3	2.9
中皮腫	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-	0.2	0.7	2.0	1.2	2.3	2.4	3.2	3.6	5.4	0.7	0.4
カボジ肉腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	0.0	0.0
結合組織、他軟部組織	0.4	-	-	-	0.4	0.5	0.5	2.2	1.0	2.0	2.2	2.6	2.2	4.6	3.9	3.8	3.6	12.5	1.6	1.1
乳房	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.4	0.3	1.6	1.6	1.6	-	1.2	5.4	0.4	0.2
陰茎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.2	-	0.3	1.9	1.0	1.6	3.8	4.7	1.8	0.5	0.3
前立腺	-	0.3	-	-	-	0.2	0.3	-	0.3	1.6	6.1	24.7	69.0	141.5	268.6	379.3	442.7	457.8	46.4	22.1
睾丸	0.7	-	0.3	1.0	2.9	8.2	7.1	8.1	4.4	2.2	1.1	0.3	0.3	0.7	-	-	-	3.6	2.6	2.5
他男性性器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2	0.3	0.3	1.0	1.6	1.3	-	3.6	0.3	0.1
腎およびその他の泌尿器	0.7	-	0.3	-	-	0.5	2.6	3.8	6.9	10.9	13.0	25.3	37.8	56.7	65.1	75.5	65.3	64.4	15.9	9.2
膀胱	-	-	0.3	-	-	0.5	1.1	2.7	4.9	6.0	10.4	17.6	33.7	57.4	74.9	131.3	117.5	143.0	17.8	9.4
眼	1.4	-	-	-	-	0.2	0.3	-	0.3	0.4	0.2	0.3	-	0.7	0.4	3.2	2.4	-	0.4	0.3
脳およびその他の神経系	2.9	2.1	1.8	1.4	1.8	2.7	1.6	3.3	2.8	2.7	2.0	4.5	6.2	6.3	6.3	10.8	8.3	3.6	3.3	2.8
甲状腺	-	0.3	-	1.0	0.2	1.1	1.3	2.4	3.1	4.7	3.3	5.1	5.9	3.6	9.4	8.2	13.1	10.7	3.0	2.0
その他の内分泌腺	3.9	-	1.2	1.0	0.7	-	-	-	0.5	0.7	0.4	-	0.9	0.7	0.8	1.3	-	-	0.7	0.9
ホジキン病	-	-	-	1.0	0.7	1.6	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.9	0.6	0.7	1.2	2.5	5.9	1.8	0.7	0.5
非ホジキンリンパ腫	0.7	-	0.3	2.7	1.5	1.1	2.6	3.0	8.0	9.4	13.7	21.0	21.2	34.3	40.8	63.4	65.3	76.9	12.6	7.5
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	0.4	1.5	2.8	7.5	9.9	17.3	14.0	36.8	32.2	3.3	1.7
リンパ性白血病	2.9	3.8	1.2	1.7	0.9	0.7	0.5	0.3	-	1.1	1.5	2.3	2.2	3.0	7.1	5.1	5.9	12.5	2.0	1.8
骨髄性白血病	0.7	0.7	0.6	0.5	1.5	1.4	1.3	1.9	3.6	4.5	3.3	5.1	6.2	13.9	14.9	14.6	20.2	28.6	4.4	2.9
単球性白血病	0.4	0.3	-	-	-	-	0.3	-	-	-	-	0.3	-	1.3	0.8	-	-	1.8	0.2	0.2
その他の白血病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	0.3	0.3	0.4	1.9	1.2	1.8	0.2	0.1
細胞形態不明の白血病	0.4	0.7	0.6	-	-	0.2	-	-	-	0.2	0.7	0.6	0.6	1.3	3.1	1.9	9.5	12.5	0.8	0.5
他および部位不明	0.7	-	-	-	-	0.2	1.3	0.8	2.3	2.5	4.8	9.1	9.4	17.5	21.6	36.8	48.7	78.7	6.3	3.5
全部位	17.9	10.3	8.7	13.3	14.8	27.7	35.7	72.9	133.2	238.9	418.9	728.4	1,157.9	1,819.1	2,467.4	3,049.4	3,409.7	3,567.3	553.0	303.1

罹患率は人口10万対、年齢調整罹患率は世界人口を基準とする

付表2 平成10-14年における各部位の年齢階級別罹患率、粗罹患率および年齢調整罹患率・女性

部位	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85+	粗罹患率	年齢調整罹患率
口唇	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.3	1.3	0.7	0.8	0.1	0.0
舌	-	-	-	-	0.2	0.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.9	4.2	2.3	4.8	3.2	4.2	5.9	9.9	1.6	0.8
口腔	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.2	0.7	2.5	1.7	3.1	4.5	8.4	6.6	13.7	1.5	0.6
唾液腺	-	-	-	0.3	0.2	-	0.3	0.3	0.5	-	0.7	0.8	1.7	1.4	1.9	1.3	0.7	0.8	0.6	0.3
中咽頭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.4	0.8	0.6	0.6	0.3	0.4	0.7	-	0.2	0.1
鼻咽頭	-	-	-	-	0.2	-	-	-	0.5	0.2	0.9	-	-	-	1.3	0.4	-	-	0.2	0.1
下咽頭	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	0.7	0.6	0.6	2.3	1.3	1.3	0.7	0.8	0.4	0.2
その他および不明の口腔・咽頭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	-	0.7	-	0.0	0.0
食道	-	-	0.3	-	-	-	-	0.8	0.5	1.8	2.7	6.2	10.2	13.6	16.2	22.2	23.0	42.5	5.4	2.3
胃	-	-	-	0.3	1.4	3.2	6.1	11.4	24.8	33.4	38.8	61.0	89.5	113.8	163.4	211.8	252.8	309.2	53.9	24.5
小腸	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.2	1.8	0.8	0.6	1.7	2.2	2.9	3.9	3.0	0.7	0.3
結腸	-	-	-	-	0.7	1.4	2.1	6.0	12.6	26.0	36.6	62.1	86.7	116.4	168.8	176.6	215.3	263.7	48.6	21.8
直腸、直腸S状結腸移行部および肛門	-	-	-	-	0.7	1.4	0.8	3.3	8.5	15.4	28.8	38.3	44.5	56.1	59.6	77.8	88.2	110.9	23.2	11.2
肝および肝内胆管	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	4.1	3.8	11.5	21.5	42.8	52.2	68.6	87.6	85.9	14.6	5.7
胆嚢および肝外胆管	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.8	1.6	4.5	8.9	18.1	26.0	50.6	74.5	103.4	152.0	15.1	5.3
膵臓	-	0.4	-	-	-	-	1.3	1.6	1.8	4.1	8.7	14.3	23.8	30.9	47.8	74.9	111.9	127.6	16.4	6.4
鼻腔、中耳および副鼻腔	-	-	0.3	0.3	-	-	-	-	-	0.7	0.2	1.7	1.4	2.3	3.2	4.6	4.6	5.3	1.0	0.5
喉頭	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	0.4	0.8	0.6	3.1	-	1.7	1.3	-	0.4	0.2
気管、気管支および肺	-	-	-	-	-	0.5	1.6	1.9	6.5	12.0	22.8	31.0	49.0	71.1	95.2	118.9	148.1	199.8	29.9	12.7
胸腺および胸腔内臓器	0.8	-	-	-	0.2	0.2	-	-	0.3	0.2	0.4	0.8	2.3	0.3	2.5	1.7	2.6	1.5	0.6	0.4
骨	-	0.7	0.9	0.3	0.7	0.2	0.5	-	0.5	0.5	0.9	0.6	0.3	0.8	0.3	0.4	0.7	-	0.5	0.5
皮膚の黒色腫	0.4	-	-	-	0.2	0.2	0.8	0.8	1.3	0.9	1.3	0.8	2.8	1.4	1.0	1.3	2.6	3.8	0.9	0.6
皮膚その他	0.4	-	-	-	0.2	0.5	0.8	0.8	1.5	2.0	2.2	3.4	5.1	7.1	12.1	18.4	31.6	71.4	5.2	2.0
中皮腫	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	0.7	-	0.3	1.4	-	1.3	-	0.8	0.2	0.1
カボジ肉腫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
結合組織、他軟部組織	0.4	0.4	0.3	0.5	1.2	0.9	0.8	0.8	2.3	0.7	2.0	0.8	1.4	3.1	2.9	3.8	3.3	4.6	1.5	1.0
乳房	-	-	-	-	0.2	6.7	25.1	50.5	94.4	148.0	122.7	118.8	126.9	120.3	102.9	100.0	85.6	72.9	65.7	43.1
外陰、陰、他女性性器	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	0.7	1.1	0.8	2.8	3.1	3.5	4.6	5.9	9.9	1.3	0.5
子宮頸部	-	-	-	-	-	3.5	14.4	20.6	14.5	12.7	10.5	7.5	9.3	9.9	11.1	12.1	15.8	19.8	8.5	6.0
子宮体部	-	-	-	-	0.2	0.7	3.2	2.4	5.4	12.9	21.6	26.6	26.1	22.7	16.9	14.2	13.8	9.9	9.7	6.0
子宮部位不明	-	-	-	-	-	0.2	0.5	0.5	0.5	1.1	1.8	2.0	1.4	2.5	2.9	2.5	9.2	22.0	1.6	0.7
卵巣	-	0.7	0.9	1.8	2.3	4.6	9.3	9.2	10.8	17.9	24.8	21.0	19.8	21.5	19.4	20.5	25.7	24.3	12.3	8.1
胎盤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.7	-	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
腎およびその他の泌尿器	1.1	0.4	-	0.3	0.5	-	0.8	0.8	2.6	4.5	6.5	8.4	11.9	16.4	23.9	25.5	34.9	28.1	7.1	3.4
膀胱	-	-	-	-	0.2	-	0.3	-	0.8	2.7	2.2	4.2	6.8	12.5	20.4	31.4	29.6	62.3	6.2	2.4
眼	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	-	-	0.8	-	0.8	0.1	0.1
脳およびその他の神経系	1.1	1.8	2.8	0.8	2.3	1.2	1.6	1.6	2.1	1.8	3.1	3.9	2.3	3.4	3.5	3.3	3.3	1.5	2.3	2.0
甲状腺	-	-	0.6	0.8	2.3	4.6	5.9	12.5	19.4	24.0	23.4	28.0	25.2	28.3	24.2	15.1	11.8	8.4	13.6	9.3
その他の内分泌腺	1.5	-	0.9	-	-	-	-	-	0.3	-	0.2	0.6	0.6	0.6	0.3	0.8	-	-	0.3	0.4
ホジキン病	-	-	0.3	0.8	0.7	1.4	-	0.8	-	-	0.4	-	0.3	1.1	0.6	-	-	1.5	0.4	0.4
非ホジキンリンパ腫	0.4	0.7	0.3	1.3	1.2	0.5	1.6	4.3	7.0	6.3	9.8	12.9	16.7	22.4	32.2	38.9	38.2	24.3	10.0	5.2
多発性骨髄腫および免疫増殖性新生物	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	1.4	1.1	3.9	3.7	7.4	12.1	19.7	16.5	13.7	3.2	1.3
リンパ性白血病	2.6	1.1	1.3	1.3	0.5	0.2	0.8	-	0.8	0.7	2.5	1.4	3.4	4.2	3.5	4.2	6.6	3.8	1.8	1.5
骨髄性白血病	0.8	0.7	0.3	0.8	0.7	1.4	1.3	1.9	1.8	1.6	2.5	3.4	6.8	8.2	5.7	7.1	8.6	6.8	2.9	1.9
単球性白血病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	0.6	-	0.4	0.7	1.5	0.1	0.0
その他の白血病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.4	0.8	0.6	0.3	1.3	-	0.8	0.2	0.1	0.1
細胞形態不明の白血病	0.4	0.4	-	-	-	-	-	-	-	0.7	0.2	-	0.3	0.8	-	2.9	3.3	8.4	0.5	0.3
他および部位不明	1.5	-	-	-	0.2	0.5	0.5	1.1	1.8	1.8	2.0	5.6	8.5	10.8	10.2	23.9	34.2	65.3	5.8	2.5
全部位	12.1	7.1	9.5	9.2	17.6	34.3	81.4	135.2	227.3	343.9	398.7	501.9	638.0	801.3	984.4	1,207.9	1,440.3	1,793.9	376.9	192.8

罹患率は人口10万対、年齢調整罹患率は世界人口を基準とする

付表3 年齢調整罹患率の推移(人口10万対、世界人口を基準とする)

部 位	性	昭34-36	昭37-39	昭40-42	昭43-47	昭48-52	昭53-57	昭58-62	昭63-平4	平5-9	平10-14
全部位	男	193.2	194.2	192.1	192.8	208.9	231.0	255.0	277.2	290.5	303.1
	女	153.2	141.2	153.4	131.8	139.0	151.6	162.9	171.3	175.2	192.8
口唇、口腔および咽頭	男	3.3	3.0	2.2	2.7	2.7 <sup>1)</sup>	4.2	5.0	5.4	5.9	6.7
	女	1.5	1.7	1.4	1.2	1.2 <sup>1)</sup>	1.6	1.9	2.1	2.0	2.3
(再掲)舌	男	1.1	1.0	0.4	0.9	0.9	1.3	1.6	1.6	1.6	1.5
	女	0.7	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.6	0.7	0.7	0.8
食道	男	14.3	14.5	12.7	13.2	13.8	13.9	14.1	13.9	14.3	15.6
	女	5.7	4.9	4.0	4.3	3.2	3.1	2.4	2.2	2.2	2.3
胃	男	95.4	95.3	91.2	86.9	88.0	83.5	85.4	83.1	68.9	66.5
	女	47.2	44.7	43.9	40.9	42.0	36.9	36.7	33.3	27.0	24.5
小腸 <sup>2)</sup>	男	0.3	0.2	0.5	0.4	0.6	0.4	0.6	0.6	0.6	0.8
	女	0.3	0.5	0.4	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.3
結腸	男	3.9	4.1	4.7	5.5	8.3	11.0	17.1	24.8	34.5	36.3
	女	4.1	4.0	4.9	5.6	7.3	10.0	13.2	15.7	19.6	21.8
直腸、直腸S状結腸移行部 および肛門	男	5.3	4.8	7.0	6.9	9.2	10.9	12.8	16.6	20.7	22.9
	女	4.9	5.0	5.0	5.3	6.5	8.1	8.6	9.0	9.8	11.2
肝および肝内胆管	男	1.0 <sup>3)</sup>	1.2 <sup>3)</sup>	1.5 <sup>3)</sup>	1.9 <sup>3)</sup>	2.5 <sup>3)</sup>	11.7	13.6	15.3	16.9	16.6
	女	0.3 <sup>3)</sup>	0.8 <sup>3)</sup>	0.4 <sup>3)</sup>	0.7 <sup>3)</sup>	0.9 <sup>3)</sup>	4.1	4.4	5.4	5.4	5.7
胆嚢および肝外胆管	男	5.1	5.4	5.1	5.7	5.9	6.4	7.2	7.8	8.1	7.0
	女	4.8	5.3	5.3	4.8	5.5	5.7	7.1	6.8	5.9	5.3
膵	男	5.2	6.7	6.4	7.2	7.4	8.9	10.5	10.9	10.2	10.3
	女	3.9	3.8	4.5	4.5	4.2	5.3	6.1	5.5	5.5	6.4
鼻腔、中耳および副鼻腔	男	3.0	3.4	2.7	2.5	2.1	1.9	1.6	1.4	1.1	1.0
	女	2.1	1.9	1.6	1.3	0.8	0.8	0.8	0.7	0.5	0.5
喉頭	男	2.8	2.4	2.7	2.1	2.2	2.7	3.5	3.4	3.8	3.4
	女	0.5	0.3	0.5	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
気管、気管支および肺	男	14.9	15.6	17.9	21.5	25.5	31.3	36.6	39.4	41.7	41.0
	女	5.4	5.9	6.7	7.2	7.2	9.3	11.0	10.3	11.6	12.7
皮膚	男	2.4	1.8	1.6	1.8	1.8	2.4	2.3	3.2	3.0	3.5
	女	1.2	1.6	2.0	1.5	1.3	1.5	1.9	2.0	1.9	2.6
乳房	男	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2
	女	12.6	11.0	13.9	13.9	17.5	22.9	27.8	31.1	32.9	43.1
子宮	女	34.2	27.1	32.1	17.2	17.0	13.2	10.2	11.1	10.5	12.7
(再掲)子宮頸	女	24.5	20.6	25.4	12.9	12.1	9.1	6.2	6.4	5.8	6.0
(再掲)子宮体	女	2.0	1.3	1.2	1.2	2.0	2.9	3.2	4.1	4.2	6.0
卵巣および子宮付属器	女	2.3	1.9	2.9	2.9	3.4	4.5	5.1	6.2	7.0 <sup>4)</sup>	8.1 <sup>4)</sup>
前立腺	男	3.7	3.2	3.4	3.4	4.9	6.9	7.8	9.0	12.7	22.1
睾丸	男	0.7	0.4	0.8	0.8	0.8	1.1	1.3	1.6	1.7	2.5
陰茎およびその他の男性生殖器	男	0.7	0.4	0.5	0.4	0.4 <sup>5)</sup>	0.6	0.4	0.5	0.4	0.4
腎ならびにその他 および部位不明の泌尿器	男	0.8 <sup>6)</sup>	1.8 <sup>6)</sup>	1.2 <sup>6)</sup>	1.7	2.6	3.5	5.0	6.4	7.1	9.2
	女	0.7 <sup>6)</sup>	0.7 <sup>6)</sup>	0.8 <sup>6)</sup>	1.1	1.1	1.8	2.2	2.4	3.0	3.4
膀胱	男	3.7 <sup>7)</sup>	5.0 <sup>7)</sup>	4.8 <sup>7)</sup>	3.9	5.3	7.0	7.8	9.0	8.6	9.4
	女	1.9 <sup>7)</sup>	1.7 <sup>7)</sup>	2.2 <sup>7)</sup>	1.3	1.6	2.1	2.3	2.5	2.3	2.4
脳およびその他の神経系	男	0.4	1.1	1.0	1.1	0.9	2.4	2.3	2.5	2.7	2.8
	女	0.6	0.8	1.0	1.0	0.8	1.9	1.8	1.9	1.9	2.0
甲状腺	男	0.9	0.8	1.0	0.7	1.0	1.1	1.4	1.5	1.5	2.0
	女	2.9	2.0	3.2	2.3	2.7	4.3	5.8	9.0	9.2	9.3
多発性骨髄腫 および免疫増殖性新生物	男	0.3	0.2	0.6	0.7	1.1	1.6	1.5	1.5	1.7	1.7
	女	0.2	0.4	0.3	0.5	0.7	1.3	1.2	1.4	1.3	1.3
白血病	男	3.7	4.4	4.2	4.6	4.6	5.6	5.6	5.8	5.7	5.5
	女	2.7	2.7	3.7	3.6	3.9	4.3	3.7	3.3	3.8	3.7
(再掲)リンパ性白血病	男	-	-	-	0.6	0.6	1.3	1.3	2.0	2.1	1.8
	女	-	-	-	0.3	0.7	1.4	1.1	1.2	1.6	1.5
(再掲)骨髄性白血病	男	-	-	-	2.3	2.6	2.7	3.1	2.9	3.1	2.9
	女	-	-	-	2.0	1.9	1.9	2.0	1.5	1.7	1.9

1) 部位不明の口腔を除く

2) 十二指腸を含む

3) 原発性と明示されたもののみ

4) 卵巣のみ

5) 陰茎のみ

6) 腎のみ

7) 「腎以外のその他の泌尿器」を含む



付表4 平成10-14年における市区町村別、主要部位別がん罹患数(5年間)及び標準化罹患比

	全部位		食道		胃		結腸		直腸	
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
宮城県(合計)	54,776	100	1,983	100	10,324	100	6,784	100	3,715	100
仙台市	20,683	106.4 ++	708	101.8	3,550	98.1	2,849	120.3 ++	1502	112.8 ++
青葉区	6,080	107.9 ++	208	104.1	995	94.7	872	126.2 ++	444	116.5 ++
宮城野区	3,554	108.8 ++	115	98.9	651	107.3	490	123.2 ++	266	118.5 ++
若林区	2,887	112.5 ++	118	127.6 ++	490	102.1	367	117.0 ++	202	114.9
太白区	4,574	102.7	152	94.6	816	98.0	614	112.8 ++	325	106.8
泉区	3,586	102.1	115	91.3	598	92.1 -	506	120.0 ++	265	107.9
石巻市	2,635	91.6 --	102	96.7	468	86.3 --	277	77.3 --	160	80.8 --
塩釜市	1,775	112.6 ++	77	132.4 +	340	113.9 +	252	128.2 ++	117	108.4
古川市	1,506	94.3 -	57	100.0	301	100.5	221	111.9	108	100.2
気仙沼市	1,728	100.7	65	101.6	318	97.3	238	110.4	128	108.5
白石市	1,146	98.3	35	82.4	237	106.7	151	103.3	62	79.9
名取市	1,318	94.2 -	42	83.1	248	94.5	157	91.5	68	71.0 --
角田市	912	94.6	32	91.5	193	105.1	88	72.9 --	49	76.5
多賀城市	1,247	107.6 +	44	104.7	255	117.9 ++	145	102.8	79	98.1
岩沼市	820	89.9 --	24	72.9	154	89.8	77	68.5 --	56	90.0
蔵王町	347	88.4 -	9	62.8	62	82.6	36	73.0	30	115.2
七ヶ宿町	95	118.5	1	32.9	20	128.2	8	77.6	8	153.0
大河原町	492	92.1	17	87.8	84	83.3	47	71.1 -	37	102.4
村田町	349	95.4	7	52.3	71	101.5	35	76.4	32	131.2
柴田町	911	103.0	35	108.4	164	98.3	123	112.7	70	115.5
川崎町	332	105.1	9	79.1	74	122.7	39	98.3	27	129.6
丸森町	529	87.0 --	21	93.6	113	96.4	59	77.0	31	78.2
亘理町	927	108.4 +	23	73.8	143	88.4	108	101.7	66	113.4
山元町	485	86.4 --	16	77.3	107	99.6	55	78.0	31	82.4
松島町	518	108.8	21	119.4	118	130.2 ++	62	103.8	40	124.1
七ヶ浜町	477	104.4	14	84.2	87	101.2	65	115.4	41	130.0
利府町	511	95.0	18	95.4	82	82.5	69	106.4	42	113.7
大和町	491	87.0 --	22	108.2	125	116.9	50	71.5 -	22	58.5 -
大郷町	235	81.7 --	15	144.0	55	100.2	21	58.2 -	13	68.6
富谷町	588	98.5	18	84.9	106	96.3	83	116.8	52	123.3
大衡村	140	91.7	7	127.8	27	93.3	19	99.9	5	49.3
中新田町	416	105.1	14	96.3	110	145.7 ++	45	90.5	26	98.1
小野田町	237	89.4	11	112.5	60	117.7	26	77.5	13	73.9
宮崎町	187	90.1	1	13.0 -	53	132.6 +	27	103.1	12	87.6
色麻町	239	103.4	8	94.9	60	136.0 +	21	72.5	13	84.9
松山町	200	100.3	10	138.0	46	121.3	17	67.8	10	74.8
三本木町	217	100.6	6	76.5	39	95.4	21	77.7	11	75.3
鹿島台町	424	110.5 +	15	108.7	80	110.1	58	119.9	44	170.2 ++
岩出山町	399	85.0 --	17	98.6	86	95.4	41	69.1 -	24	77.3
鳴子町	327	103.6	8	69.1	67	111.0	46	114.5	15	71.3
涌谷町	550	100.7	20	100.6	102	98.2	70	101.8	31	84.3
田尻町	400	100.7	14	97.6	86	113.6	40	79.7	36	136.4
小牛田町	576	101.9	33	159.6 ++	126	117.2	85	120.0	42	110.7
南郷町	188	86.5 -	5	63.2	31	74.7	22	79.7	13	89.8

(標準化罹患比は宮城県合計を100とし、罹患比算出のための期待値は平成10-14年の宮城県合計の性別、年齢階級別罹患率及び平成12年国勢調査による各市区町村の性別、年齢階級別人口に基づいて計算された。)

++ 危険率1%で有意    + 危険率5%で有意    -- 危険率1%で有意    - 危険率5%で有意



付表4 (続き)

	全部位		食道		胃		結腸		直腸	
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
築館町	510	109.6 +	25	147.8	113	127.6 +	68	115.9	37	118.8
若柳町	425	87.1 --	17	95.7	91	97.6	52	84.0	38	118.2
栗駒町	365	75.2 --	27	150.9 +	60	64.4 --	42	68.2 -	18	56.1 -
高清水町	158	123.1 ++	10	214.1 +	37	151.4 +	18	111.8	10	116.2
一迫町	319	97.3	16	133.3	67	106.4	35	83.9	28	129.3
瀬峰町	189	118.1 +	11	191.2 +	44	144.7 +	19	93.9	8	74.5
鶯沢町	102	88.6	3	70.4	21	94.8	12	81.8	5	65.9
金成町	188	70.2 --	6	60.7	42	81.8	23	68.0	12	67.7
志波姫町	201	85.7 -	7	82.4	39	87.1	10	33.8 --	8	51.7
花山村	74	115.8	4	168.5	22	177.7 ++	5	61.2	4	96.0
一迫町	585	96.3	14	63.6	139	120.5 +	56	73.7 -	37	91.6
登米町	178	87.2	9	123.1	31	79.5	15	57.8 -	15	112.5
東和町	255	84.7 --	21	190.6 ++	42	72.6 -	24	62.8 -	11	55.6
中田町	467	90.6 -	12	64.7	71	72.2 --	53	81.5	31	91.7
豊里町	187	85.4 -	10	127.8	30	72.0	18	65.1	11	76.0
米山町	322	95.7	16	130.9	68	106.0	34	79.9	14	62.5
石越町	178	90.0	9	125.1	36	95.3	20	80.4	13	99.9
南方町	290	107.1	11	112.3	79	153.1 ++	27	79.2	16	89.2
河北町	352	83.8 --	8	52.6	67	83.4	38	71.6 -	21	75.8
矢本町	663	94.1	33	129.6	135	101.9	52	59.7 --	30	62.2 -
雄勝町	227	118.2 +	2	28.4	37	100.4	29	118.2	9	70.3
河南町	486	90.0 -	14	70.6	107	103.6	53	78.0	26	72.2
桃生町	243	94.1	10	107.1	45	91.4	20	61.2 -	7	40.6 -
鳴瀬町	293	89.6	11	92.0	76	122.2	29	70.5	11	49.8 -
北上町	127	89.7	3	57.5	29	106.5	10	56.0	9	95.9
女川町	341	94.6	14	104.0	64	92.7	37	80.9	20	81.3
牡鹿町	192	94.1	9	118.1	37	93.8	23	88.5	14	103.5
志津川町	383	91.9	19	124.5	71	89.2	36	68.5 -	17	61.1 -
津山町	113	78.6 -	1	19.3	24	87.3	10	54.7	9	95.2
本吉町	377	103.7	19	144.5	64	92.5	27	58.6 --	28	114.9
唐桑町	275	99.9	6	59.2	57	108.4	24	68.9	18	97.0
歌津町	152	93.2	4	67.3	31	99.4	11	53.7 -	14	129.5

付表4 (続き)

	肝		胆嚢、胆管		脾		肺		女性乳房	
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
宮城県(合計)	2,589	100	1,732	100	2,108	100	6,438	100	3,967	100
仙台市	940	104.4	543	94.7	749	104.0	2,144	97.2	1,828	118.4 ++
青葉区	287	109.6	153	87.3	217	101.2	613	94.4	519	120.6 ++
宮城野区	171	113.1	92	97.3	125	104.2	331	90.2	315	119.6 ++
若林区	126	105.2	84	109.8	107	111.7	314	107.0	271	137.7 ++
太白区	196	94.6	131	98.8	174	104.9	523	102.2	368	106.9
泉区	160	99.6	83	88.1	126	101.2	363	94.5	354	114.7 +
石巻市	152	110.8	77	86.6	105	95.5	350	104.4	219	103.5
塩釜市	83	110.3	44	89.7	58	96.1	197	105.6	149	131.6 ++
古川市	66	87.9	45	90.1	57	93.5	177	95.1	78	65.3 --
気仙沼市	54	65.0 --	61	111.6	72	107.8	164	80.4 --	114	96.5
白石市	38	68.0 -	41	102.7	52	111.2	139	97.6	74	98.9
名取市	72	109.9	34	80.6	39	74.2	159	99.0	118	110.0
角田市	30	65.1 -	35	104.3	37	94.9	124	105.1	63	102.7
多賀城市	55	101.8	31	94.4	48	113.6	147	112.8	91	97.6
岩沼市	41	95.6	27	95.7	29	83.4	112	105.6	63	92.3
蔵王町	17	90.0	13	96.1	23	145.7	44	91.0	19	77.2
七ヶ宿町	4	101.4	4	136.5	8	240.4 +	16	153.7	2	49.8
大河原町	22	87.1	10	58.5	19	91.8	58	91.9	34	89.3
村田町	17	96.5	9	71.7	12	81.5	48	107.3	21	90.9
柴田町	36	86.2	30	109.8	30	88.9	116	112.4	59	90.4
川崎町	22	145.1	8	71.3	10	77.1	36	92.5	17	86.4
丸森町	20	68.2	28	127.2	26	104.0	63	81.5	39	114.8
亘理町	87	214.3 ++	29	106.2	27	81.5	117	115.7	62	101.6
山元町	22	81.4	16	82.5	21	92.6	61	88.5	25	71.1
松島町	29	126.7	15	96.1	16	85.5	62	108.0	28	87.5
七ヶ浜町	17	78.9	13	95.1	14	81.7	69	131.5 +	30	85.7
利府町	17	69.2	15	97.9	15	76.7	75	125.9	34	73.2
大和町	17	63.6	20	107.5	14	63.3	69	102.0	13	34.2 --
大郷町	9	65.4	15	149.5	13	111.9	35	98.4	5	27.5 --
富谷町	25	92.5	11	71.2	17	81.4	54	84.6	48	86.4
大衡村	3	41.3	7	134.2	5	81.8	18	97.6	10	98.5
中新田町	20	105.1	8	60.3	17	108.4	48	99.6	13	50.7 -
小野田町	14	108.9	12	128.8	7	64.8	27	81.7	5	31.5 --
宮崎町	6	59.5	6	82.6	12	143.3	16	61.5	10	81.6
色麻町	4	36.2 -	7	89.0	12	130.5	40	140.6 +	9	60.9
松山町	7	73.1	6	90.2	13	164.8	37	153.6 +	8	59.5
三本木町	15	144.9	4	57.1	11	130.7	28	109.4	5	33.1 -
鹿島台町	17	92.1	15	116.1	8	52.2	54	117.7	28	106.2
岩出山町	28	123.1	14	84.9	31	162.5 ++	40	68.4 -	26	91.3
鳴子町	35	227.9 ++	5	45.8	14	109.8	43	110.2	15	75.5
涌谷町	52	197.7 ++	28	153.8 +	23	106.5	56	85.1	35	94.6
田尻町	13	67.6	14	101.4	17	105.8	56	115.3	18	70.8
小牛田町	20	74.2	22	118.3	30	135.0	48	70.0 -	37	96.9
南郷町	12	113.3	14	184.3 +	6	68.0	31	116.7	6	43.4 -

付表4 (続き)

	肝		胆嚢、胆管		脾		肺		女性乳房	
	数	比	数	比	数	比	数	比	数	比
築館町	21	93.5	22	138.5	15	80.4	62	109.5	25	81.8
若柳町	21	88.9	13	74.7	23	115.1	49	80.7	18	60.6 -
栗駒町	10	42.5 --	15	87.7	17	86.0	52	85.7	13	44.6 --
高清水町	8	129.9	9	209.7 +	3	58.9	22	140.9	10	117.4
一迫町	16	100.0	11	93.8	15	111.4	38	92.8	22	112.4
瀬峰町	32	415.0 ++	1	18.2	6	92.8	22	114.0	11	102.2
鶯沢町	6	106.8	6	146.0	6	127.4	7	48.3	6	89.8
金成町	6	46.4	8	87.5	11	102.8	22	65.9	12	72.6
志波姫町	10	88.3	13	156.8	12	125.4	25	86.3	9	61.5
花山村	3	96.2	2	86.0	4	151.2	8	97.3	1	29.3
迫町	34	117.4	19	93.9	24	100.2	77	104.4	33	81.2
登米町	8	81.1	9	117.4	11	127.7	27	106.1	6	49.8
東和町	11	75.4	15	138.4	9	72.5	38	100.4	13	73.5
中田町	18	72.6	19	104.5	18	85.8	69	108.1	21	65.2
豊里町	8	75.9	9	116.6	9	100.7	31	116.2	11	77.3
米山町	19	116.4	11	94.5	13	95.5	44	107.0	20	92.5
石越町	5	52.7	7	102.4	9	113.3	29	118.0	10	80.7
南方町	18	138.3	17	181.5 +	11	100.7	38	114.8	16	91.1
河北町	24	118.5	10	66.6	13	75.4	42	80.8	18	69.9
矢本町	37	111.2	23	104.8	26	96.2	102	124.9 +	56	106.9
雄勝町	30	319.2 ++	6	86.7	11	137.9	22	92.4	19	164.2 +
河南町	12	46.2 --	30	162.9 ++	21	97.0	71	106.9	27	78.7
桃生町	12	96.3	8	88.4	13	123.6	55	174.7 ++	11	66.4
鳴瀬町	11	70.0	16	146.0	12	92.3	46	116.7	15	68.6
北上町	4	58.1	11	219.6 +	6	103.1	18	102.5	7	82.7
女川町	20	113.5	13	108.7	14	97.7	52	119.2	20	86.1
牡鹿町	3	30.0 -	17	231.4 ++	6	71.0	26	100.7	6	53.2
志津川町	12	59.6	19	132.7	13	77.5	47	92.2	25	94.5
津山町	5	71.7	5	94.1	6	100.0	17	95.4	4	46.5
本吉町	11	62.5	24	187.8 ++	17	114.4	50	113.6	18	76.9
唐桑町	12	90.2	2	21.3 -	15	135.4	29	86.5	19	107.3
歌津町	4	50.9	6	105.2	2	30.2	23	115.0	7	68.6

付表4 (続き)

	子宮		前立腺		
	数	比	数	比	
宮城県(合計)	1,200	100	2,688	100	
仙台市	481	102.8	1,032	115.2	++
青葉区	129	97.9	358	134.1	++
宮城野区	84	104.4	171	116.7	+
若林区	66	109.7	144	120.3	+
太白区	107	102.4	223	105.2	
泉区	95	104.3	136	90.4	
石巻市	62	96.9	106	77.2	--
塩釜市	48	141.3	55	70.0	--
古川市	34	94.2	65	84.7	
気仙沼市	36	100.5	95	111.8	
白石市	29	127.0	88	142.4	++
名取市	35	107.8	81	123.4	
角田市	26	138.7	56	109.7	
多賀城市	30	107.6	32	61.2	--
岩沼市	15	73.4	42	95.7	
蔵王町	5	66.9	23	108.3	
七ヶ宿町	1	78.3	14	292.2	++
大河原町	11	95.1	25	93.9	
村田町	6	85.5	20	103.1	
柴田町	24	124.2	42	98.0	
川崎町	8	132.6	19	112.8	
丸森町	9	85.9	26	73.4	
亘理町	12	65.9	52	122.8	
山元町	8	74.7	20	66.5	
松島町	9	92.9	18	73.4	
七ヶ浜町	16	152.8	11	51.6	-
利府町	15	109.6	12	51.4	-
大和町	12	102.5	26	89.8	
大郷町	3	55.2	10	64.0	
富谷町	16	99.8	16	66.4	
大衡村	4	130.6	6	76.2	
中新田町	10	128.5	22	105.7	
小野田町	5	103.2	18	123.4	
宮崎町	2	53.9	8	68.8	
色麻町	5	112.7	13	103.8	
松山町	1	25.0	7	68.1	
三本木町	2	44.5	14	132.0	
鹿島台町	8	100.5	20	105.6	
岩出山町	8	93.1	18	69.7	
鳴子町	5	83.2	16	94.8	
涌谷町	5	45.3	31	112.1	
田尻町	2	26.1	19	91.3	
小牛田町	10	88.0	25	84.4	
南郷町	4	95.0	10	89.2	

付表4 (続き)

	子宮		前立腺	
	数	比	数	比
築館町	12	130.4	30	124.6
若柳町	4	43.8	22	82.9
栗駒町	4	45.0	22	82.0
高清水町	2	79.1	8	119.3
一迫町	6	100.4	10	55.9
瀬峰町	1	31.2	9	111.7
鶯沢町	1	48.8	9	139.3
金成町	3	60.5	20	134.2
志波姫町	3	67.5	13	103.6
花山村	0	0.0	9	239.2 +
迫町	15	121.7	24	75.1
登米町	4	105.9	7	63.7
東和町	3	55.4	21	125.5
中田町	11	112.7	47	168.6 ++
豊里町	3	69.9	5	44.2
米山町	3	46.1	20	114.3
石越町	4	107.8	10	91.4
南方町	2	37.6	5	35.1 -
河北町	8	101.3	13	57.4
矢本町	16	101.5	15	45.0 --
雄勝町	4	111.4	10	97.9
河南町	9	86.9	18	61.9 -
桃生町	8	157.7	9	67.5
鳴瀬町	5	75.6	8	48.0 -
北上町	1	38.9	5	65.0
女川町	8	113.0	14	76.0
牡鹿町	5	143.1	10	86.4
志津川町	10	123.0	15	68.3
津山町	1	37.3	6	78.3
本吉町	14	194.1 +	20	109.0
唐桑町	5	92.1	32	225.5 ++
歌津町	3	94.9	9	103.5

付表5 平成10-14年における市町村別、主要部位別検診発見がん罹患数(5年間)および割合

	胃			結腸			直腸		
	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%
宮城県(合計)	10,324	2,570	24.9	6,784	1,681	24.8	3,715	777	20.9
仙台市	3,550	853	24.0	2,849	612	21.5	1,502	256	17.0
青葉区	995	210	21.1	872	167	19.2	444	70	15.8
宮城野区	651	140	21.5	490	111	22.7	266	49	18.4
若林区	490	109	22.2	367	65	17.7	202	32	15.8
太白区	816	180	22.1	614	119	19.4	325	43	13.2
泉区	598	214	35.8	506	150	29.6	265	62	23.4
石巻市	468	92	19.7	277	34	12.3	160	18	11.3
塩釜市	340	83	24.4	252	53	21.0	117	35	29.9
古川市	301	77	25.6	221	64	29.0	108	31	28.7
気仙沼市	318	45	14.2	238	82	34.5	128	30	23.4
白石市	237	55	23.2	151	21	13.9	62	7	11.3
名取市	248	62	25.0	157	60	38.2	68	15	22.1
角田市	193	58	30.1	88	25	28.4	49	10	20.4
多賀城市	255	69	27.1	145	34	23.4	79	18	22.8
岩沼市	154	54	35.1	77	18	23.4	56	13	23.2
蔵王町	62	7	11.3	36	13	36.1	30	6	20.0
七ヶ宿町	20	8	40.0	8	4	50.0	8	3	37.5
大河原町	84	28	33.3	47	12	25.5	37	8	21.6
村田町	71	12	16.9	35	12	34.3	32	7	21.9
柴田町	164	51	31.1	123	36	29.3	70	12	17.1
川崎町	74	26	35.1	39	11	28.2	27	9	33.3
丸森町	113	22	19.5	59	14	23.7	31	6	19.4
亘理町	143	34	23.8	108	32	29.6	66	20	30.3
山元町	107	27	25.2	55	17	30.9	31	8	25.8
松島町	118	31	26.3	62	15	24.2	40	7	17.5
七ヶ浜町	87	28	32.2	65	14	21.5	41	8	19.5
利府町	82	22	26.8	69	16	23.2	42	8	19.0
大和町	125	30	24.0	50	13	26.0	22	11	50.0
大郷町	55	13	23.6	21	1	4.8	13	0	0.0
富谷町	106	36	34.0	83	34	41.0	52	13	25.0
大衡村	27	8	29.6	19	5	26.3	5	3	60.0
中新田町	110	24	21.8	45	9	20.0	26	7	26.9
小野田町	60	16	26.7	26	7	26.9	13	4	30.8
宮崎町	53	14	26.4	27	3	11.1	12	1	8.3
色麻町	60	13	21.7	21	6	28.6	13	1	7.7
松山町	46	10	21.7	17	9	52.9	10	4	40.0
三本木町	39	11	28.2	21	9	42.9	11	4	36.4
鹿島台町	80	16	20.0	58	17	29.3	44	15	34.1
岩出山町	86	15	17.4	41	3	7.3	24	2	8.3
鳴子町	67	11	16.4	46	14	30.4	15	5	33.3
涌谷町	102	17	16.7	70	24	34.3	31	6	19.4
田尻町	86	25	29.1	40	11	27.5	36	7	19.4
小牛田町	126	29	23.0	85	34	40.0	42	11	26.2
南郷町	31	4	12.9	22	7	31.8	13	3	23.1

付表5 (続き)

	胃			結腸			直腸		
	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%
築館町	113	36	31.9	68	19	27.9	37	11	29.7
若柳町	91	19	20.9	52	24	46.2	38	11	28.9
栗駒町	60	8	13.3	42	9	21.4	18	3	16.7
高清水町	37	16	43.2	18	5	27.8	10	3	30.0
一迫町	67	21	31.3	35	11	31.4	28	13	46.4
瀬峰町	44	17	38.6	19	6	31.6	8	3	37.5
鶯沢町	21	6	28.6	12	6	50.0	5	2	40.0
金成町	42	13	31.0	23	8	34.8	12	6	50.0
志波姫町	39	10	25.6	10	1	10.0	8	2	25.0
花山村	22	8	36.4	5	2	40.0	4	1	25.0
迫町	139	53	38.1	56	22	39.3	37	12	32.4
登米町	31	12	38.7	15	6	40.0	15	2	13.3
東和町	42	8	19.0	24	13	54.2	11	3	27.3
中田町	71	26	36.6	53	19	35.8	31	8	25.8
豊里町	30	11	36.7	18	2	11.1	11	2	18.2
米山町	68	20	29.4	34	9	26.5	14	0	0.0
石越町	36	15	41.7	20	12	60.0	13	7	53.8
南方町	79	35	44.3	27	11	40.7	16	6	37.5
河北町	67	18	26.9	38	10	26.3	21	7	33.3
矢本町	135	30	22.2	52	8	15.4	30	2	6.7
雄勝町	37	5	13.5	29	4	13.8	9	3	33.3
河南町	107	33	30.8	53	10	18.9	26	11	42.3
桃生町	45	15	33.3	20	4	20.0	7	1	14.3
鳴瀬町	76	23	30.3	29	11	37.9	11	6	54.5
北上町	29	5	17.2	10	2	20.0	9	1	11.1
女川町	64	12	18.8	37	8	21.6	20	7	35.0
牡鹿町	37	9	24.3	23	9	39.1	14	2	14.3
志津川町	71	13	18.3	36	9	25.0	17	1	5.9
津山町	24	5	20.8	10	1	10.0	9	1	11.1
本吉町	64	7	10.9	27	9	33.3	28	1	3.6
唐桑町	57	20	35.1	24	4	16.7	18	4	22.2
歌津町	31	5	16.1	11	2	18.2	14	3	21.4

付表5 (続き)

	肺			女性乳房 <sup>1)</sup>			子宮頸 <sup>1)</sup>		
	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%
宮城県(合計)	6,438	1,330	20.7	4,301	964	22.4	1,130	442	39.1
仙台市	2,144	325	15.2	1,976	411	20.8	525	196	37.3
青葉区	613	82	13.4	587	120	20.4	118	39	33.1
宮城野区	331	33	10.0	326	64	19.6	110	35	31.8
若林区	314	42	13.4	282	60	21.3	84	36	42.9
太白区	523	92	17.6	398	65	16.3	100	35	35.0
泉区	363	76	20.9	382	102	26.7	113	51	45.1
石巻市	350	64	18.3	237	47	19.8	70	34	48.6
塩釜市	197	22	11.2	159	25	15.7	30	8	26.7
古川市	177	30	16.9	82	11	13.4	26	15	57.7
気仙沼市	164	26	15.9	117	19	16.2	28	9	32.1
白石市	139	31	22.3	80	27	33.8	28	8	28.6
名取市	159	47	29.6	124	29	23.4	37	12	32.4
角田市	124	30	24.2	70	14	20.0	13	4	30.8
多賀城市	147	21	14.3	96	8	8.3	27	9	33.3
岩沼市	112	29	25.9	69	16	23.2	23	8	34.8
蔵王町	44	9	20.5	23	9	39.1	9	4	44.4
七ヶ宿町	16	9	56.3	2	1	50.0	3	0	0.0
大河原町	58	16	27.6	35	8	22.9	11	2	18.2
村田町	48	17	35.4	23	4	17.4	5	1	20.0
柴田町	116	32	27.6	65	19	29.2	12	5	41.7
川崎町	36	9	25.0	18	2	11.1	11	6	54.5
丸森町	63	16	25.4	40	7	17.5	5	2	40.0
亘理町	117	34	29.1	69	24	34.8	13	6	46.2
山元町	61	11	18.0	28	7	25.0	10	5	50.0
松島町	62	5	8.1	29	4	13.8	4	0	0.0
七ヶ浜町	69	12	17.4	35	7	20.0	14	9	64.3
利府町	75	13	17.3	37	5	13.5	12	3	25.0
大和町	69	6	8.7	15	7	46.7	7	4	57.1
大郷町	35	11	31.4	7	3	42.9	2	0	0.0
富谷町	54	11	20.4	52	12	23.1	17	7	41.2
大衡村	18	4	22.2	10	3	30.0	2	1	50.0
中新田町	48	12	25.0	14	4	28.6	7	3	42.9
小野田町	27	12	44.4	7	2	28.6	2	1	50.0
宮崎町	16	7	43.8	12	3	25.0	3	1	33.3
色麻町	40	10	25.0	11	3	27.3	2	1	50.0
松山町	37	8	21.6	9	3	33.3	0	0	-
三本木町	28	12	42.9	5	2	40.0	2	2	100.0
鹿島台町	54	4	7.4	31	7	22.6	7	4	57.1
岩出山町	40	8	20.0	26	6	23.1	3	2	66.7
鳴子町	43	13	30.2	15	0	0.0	1	0	0.0
涌谷町	56	14	25.0	39	5	12.8	6	3	50.0
田尻町	56	18	32.1	18	4	22.2	7	3	42.9
小牛田町	48	13	27.1	42	15	35.7	9	1	11.1
南郷町	31	9	29.0	8	2	25.0	1	1	100.0

1) 上皮内がんを含む



付表5 (続き)

	肺			女性乳房 <sup>1)</sup>			子宮頸 <sup>1)</sup>		
	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%
築館町	62	18	29.0	26	9	34.6	9	5	55.6
若柳町	49	20	40.8	19	4	21.1	3	0	0.0
栗駒町	52	20	38.5	14	7	50.0	6	4	66.7
高清水町	22	8	36.4	10	4	40.0	1	1	100.0
一迫町	38	15	39.5	23	8	34.8	1	0	0.0
瀬峰町	22	6	27.3	13	6	46.2	3	2	66.7
鶯沢町	7	1	14.3	6	1	16.7	3	0	0.0
金成町	22	6	27.3	14	6	42.9	5	3	60.0
志波姫町	25	10	40.0	9	3	33.3	2	0	0.0
花山村	8	4	50.0	1	0	0.0	0	0	-
迫町	77	17	22.1	39	13	33.3	13	6	46.2
登米町	27	10	37.0	7	3	42.9	1	0	0.0
東和町	38	12	31.6	14	6	42.9	3	1	33.3
中田町	69	27	39.1	24	6	25.0	10	7	70.0
豊里町	31	13	41.9	12	5	41.7	3	3	100.0
米山町	44	17	38.6	23	11	47.8	3	2	66.7
石越町	29	5	17.2	11	3	27.3	3	1	33.3
南方町	38	13	34.2	18	4	22.2	5	1	20.0
河北町	42	11	26.2	22	7	31.8	8	5	62.5
矢本町	102	24	23.5	62	17	27.4	10	4	40.0
雄勝町	22	1	4.5	20	6	30.0	1	0	0.0
河南町	71	21	29.6	31	12	38.7	7	3	42.9
桃生町	55	17	30.9	12	3	25.0	7	4	57.1
鳴瀬町	46	6	13.0	15	6	40.0	1	1	100.0
北上町	18	4	22.2	8	1	12.5	1	1	100.0
女川町	52	11	21.2	22	8	36.4	5	4	80.0
牡鹿町	26	4	15.4	8	3	37.5	5	1	20.0
志津川町	47	10	21.3	26	6	23.1	8	1	12.5
津山町	17	3	17.6	8	3	37.5	0	0	-
本吉町	50	7	14.0	20	6	30.0	7	1	14.3
唐桑町	29	7	24.1	20	0	0.0	1	0	0.0
歌津町	23	2	8.7	9	2	22.2	1	1	100.0

付表5 (続き)

	子宮体			前立腺		
	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%
宮城県(合計)	588	88	15.0	2,688	319	11.9
仙台市	234	34	14.5	1,032	67	6.5
青葉区	55	4	7.3	358	22	6.1
宮城野区	43	6	14.0	171	12	7.0
若林区	33	6	18.2	144	7	4.9
太白区	57	10	17.5	223	15	6.7
泉区	46	8	17.4	136	11	8.1
石巻市	30	7	23.3	106	2	1.9
塩釜市	19	1	5.3	55	3	5.5
古川市	17	2	11.8	65	6	9.2
気仙沼市	16	2	12.5	95	13	13.7
白石市	16	4	25.0	88	22	25.0
名取市	14	2	14.3	81	34	42.0
角田市	13	2	15.4	56	0	0.0
多賀城市	18	3	16.7	32	1	3.1
岩沼市	9	1	11.1	42	0	0.0
蔵王町	0	0	-	23	3	13.0
七ヶ宿町	0	0	-	14	8	57.1
大河原町	4	0	0.0	25	2	8.0
村田町	2	0	0.0	20	7	35.0
柴田町	15	0	0.0	42	1	2.4
川崎町	4	1	25.0	19	2	10.5
丸森町	5	0	0.0	26	0	0.0
亘理町	8	1	12.5	52	2	3.8
山元町	5	0	0.0	20	0	0.0
松島町	6	1	16.7	18	2	11.1
七ヶ浜町	6	3	50.0	11	2	18.2
利府町	8	0	0.0	12	0	0.0
大和町	8	0	0.0	26	10	38.5
大郷町	0	0	-	10	1	10.0
富谷町	5	2	40.0	16	0	0.0
大衡村	2	1	50.0	6	0	0.0
中新田町	3	0	0.0	22	1	4.5
小野田町	3	0	0.0	18	0	0.0
宮崎町	0	0	-	8	1	12.5
色麻町	2	1	50.0	13	3	23.1
松山町	1	0	0.0	7	1	14.3
三本木町	1	0	0.0	14	4	28.6
鹿島台町	4	0	0.0	20	1	5.0
岩出山町	6	0	0.0	18	1	5.6
鳴子町	4	1	25.0	16	0	0.0
涌谷町	1	0	0.0	31	0	0.0
田尻町	0	0	-	19	0	0.0
小牛田町	5	1	20.0	25	2	8.0
南郷町	3	1	33.3	10	0	0.0

付表5 (続き)

	子宮体			前立腺		
	総数	検診 発見数	%	総数	検診 発見数	%
築館町	8	2	25.0	30	6	20.0
若柳町	1	0	0.0	22	8	36.4
栗駒町	1	0	0.0	22	2	9.1
高清水町	1	0	0.0	8	1	12.5
一迫町	6	1	16.7	10	1	10.0
瀬峰町	1	0	0.0	9	2	22.2
鶯沢町	0	0	-	9	3	33.3
金成町	0	0	-	20	10	50.0
志波姫町	1	0	0.0	13	2	15.4
花山村	0	0	-	9	2	22.2
迫町	8	2	25.0	24	2	8.3
登米町	1	0	0.0	7	1	14.3
東和町	1	0	0.0	21	4	19.0
中田町	3	1	33.3	47	35	74.5
豊里町	2	2	100.0	5	0	0.0
米山町	1	1	100.0	20	8	40.0
石越町	1	1	100.0	10	1	10.0
南方町	0	0	-	5	0	0.0
河北町	3	1	33.3	13	1	7.7
矢本町	9	2	22.2	15	0	0.0
雄勝町	3	0	0.0	10	1	10.0
河南町	5	1	20.0	18	0	0.0
桃生町	2	0	0.0	9	2	22.2
鳴瀬町	5	0	0.0	8	1	12.5
北上町	0	0	-	5	0	0.0
女川町	5	0	0.0	14	1	7.1
牡鹿町	1	1	100.0	10	1	10.0
志津川町	6	1	16.7	15	0	0.0
津山町	0	0	-	6	3	50.0
本吉町	10	1	10.0	20	4	20.0
唐桑町	4	0	0.0	32	12	37.5
歌津町	2	0	0.0	9	3	33.3

# 宮城県がん登録管理事業実施要領

## 1 目 的

本県におけるがんの罹患の実態を登録し、これを追跡調査することにより、疾病構造の変化を明らかにし、医療行政特にがん予防対策推進上の重要な基礎資料とし、もって県民の保健衛生の向上に寄与することを目的とする。

## 2 実施事項

- (1) がん患者の登録管理並びに追跡調査
- (2) 登録票の集計解析
- (3) 医療機関への情報提供
- (4) その他がん登録管理事業に必要な調査研究

## 3 実施方法

本事業は、医療上の基本に触れる問題であるため、業務の厳正を期するものとし、実施に当たっては、「宮城県新生物レジストリー委員会」を設置し、この委員会が業務の実施を行なうものとする。

## 4 業務委託

この事業を円滑に推進するため、業務を財団法人宮城県対がん協会に委託する。委託業務の実施に当たっては、受託者において別紙宮城県新生物レジストリー委員会要綱に基づく委員会を設置して行なう他、委託料その他委託の条件に関し必要な事項は、両者協議の上定める。

## 5 施行期日

この要領は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

## 宮城県新生物レジストリー委員会要綱

### (設 置)

第1条 宮城県がん登録管理事業を実施するため、宮城県新生物レジストリー委員会（以下「委員会」という）を設置する。

### (組 織)

第2条 委員会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げるもののうちから財団法人宮城県対がん協会会長が委嘱又は任命する。

- 一 学識経験を有する者
- 二 県職員

3 委員会は会長及び副会長を置き、委員が互選する。

### (任 期)

第3条 前条第2項第1号に掲げる者のうちから委嘱された委員の任期は2年とする。

### (任 務 等)

第4条 会長は、会務を総理し委員会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき又は会長が欠けたときはその職務を代理する。

### (委 任)

第5条 この要綱の定めるものの他、委員会の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、昭和47年11月1日から施行する。

### 附 則

この要綱は、昭和51年4月1日から施行する。

## 宮城県新生物レジストリー委員会規程

第1条 本規程は、宮城県がん登録管理事業実施要領（以下「要領」という）及び宮城県新生物レジストリー委員会要綱（以下「要綱」という）に基づき運営上必要な事項を定める。

第2条 宮城県新生物レジストリー委員会（以下「委員会」という）の副会長は2名とする。

第3条 委員会に実務委員会を置く。

実務委員会は、会長・副会長・実務委員で構成し委員会から委任を受けた事項につき審議し、執行するものとし、随時必要なとき開催する。

第4条 実務委員会に実務委員を若干名置く。

- 2 実務委員は、委員及び財団法人宮城県対がん協会職員の中から委嘱する。
- 3 実務委員長を置くものとする。
- 4 実務委員長は、財団法人宮城県対がん協会会長が任命する。

第5条 委員会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、委員以外の者から財団法人宮城県対がん協会会長が委員会の承認を得て委嘱する。

第6条 委員会は毎年1回以上開催し、要領第2項の事項を審議する。

第7条 委員会の業務は、財団法人宮城県対がん協会において処理するものとする。

### 附 則

この規程は、昭和51年7月10日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成3年5月1日から施行する。

## 宮城県新生物レジストリー委員会委員名簿

任期 平成 17 年 4 月 1 日(委嘱日)から平成 19 年 3 月 31 日まで

[順不同]

- |    |              |         |                                  |
|----|--------------|---------|----------------------------------|
| 1  | 会 長          | 師 研 也   | 宮城県医師会長                          |
| 2  | 副会長<br>実務委員長 | 辻 一 郎   | 東北大学教授                           |
| 3  | 副会長          | 加 藤 秀 郎 | 宮城県保健福祉部長                        |
| 4  | 委 員          | 北 川 正 伸 | 宮城県医師会副会長                        |
| 5  | 委 員          | 根 東 義 明 | 東北大学教授                           |
| 6  | 委 員          | 笹 野 公 伸 | 東北大学教授                           |
| 7  | 委 員          | 下瀬川 徹   | 東北大学教授                           |
| 8  | 委 員          | 八重樫 伸 生 | 東北大学教授                           |
| 9  | 委 員          | 栗 原 登   | 広島大学名誉教授                         |
| 10 | 委 員          | 高 野 昭   | 前仙台大学教授                          |
| 11 | 委 員<br>実務委員  | 富 澤 一 郎 | 宮城県保健福祉部医療健康局長                   |
| 12 | 委 員<br>実務委員  | 佐々木 清 司 | 宮城県健康対策課長                        |
| 13 | 委 員<br>実務委員  | 坪 野 吉 孝 | 東北大学教授                           |
| 14 | 委 員<br>実務委員  | 南 優 子   | 東北大学教授                           |
| 15 | 委 員<br>実務委員  | 栗 山 進 一 | 東北大学助教授                          |
| 16 | 委 員<br>実務委員  | 渋 谷 大 助 | (財)宮城県対がん協会がん検診センター所長            |
| 17 | 委 員<br>実務委員  | 鈴 木 務   | (財)宮城県対がん協会事務局長                  |
| 18 | 委 員<br>実務委員  | 西 野 善 一 | 宮城県立がんセンター<br>(財)宮城県対がん協会がん登録室室長 |

平成 18 年 7 月 1 日現在

宮城県新生物レジストリー資料利用許可申請書  
研究計画書作成要領

(2002年7月改訂版)

1. A4版横書き2枚程度にまとめて下さい。

2. 次の項目について記述して下さい。

- (1) 研究題目
- (2) 研究組織
- (3) 主任研究者氏名・所属・連絡先
- (4) 担当者氏名・所属・連絡先
- (5) 研究目的
- (6) 対象と方法
- (7) 必要とする宮城県新生物レジストリー資料
- (8) 研究期間
- (9) 研究成果の公表方法

(10) 倫理上の配慮

(11) 研究代表者または共同研究者の所属施設における倫理委員会の承認書

(7) については、特に詳細に記述して下さい。

(9) については、学会・研究班報告、報告書、論文を含めて、予定している公表方法を具体的に記述して下さい。

(10)については、個人情報の取り扱いには十分留意すること、及び、レジストリー資料で知り得た個人情報に基づき、患者や家族に直接接触することは、いかなる形でも行なわないこと(特に症例対照研究における症例や、検診の偽陰性について)を明記して下さい。



宮城県新生物レジストリー  
資料利用許可申請書

宮城県新生物レジストリー委員会  
会 長 師 研 也 殿

私共が計画している研究の実施にあたり、宮城県新生物レジストリーの資料の利用をご許可願いたく、研究計画書を添えて申請いたします。

なお、資料の利用が許可された際には、個人情報の保護に十分留意し、許可された用途以外に使用しないことを誓約いたします。

平成 年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_ 印

所属 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

見本

宮城県新生物レジストリー調査票										登録番号*	記入年月日	平成	年	月	日	再調査①	平成	年	月	日						
調査票番号*	取集方法	1 採録	2 報告	3 補充	4 DCN	医療機関名称(科名)	医師名	患者氏名	性別	1 男 2 女	生年月日	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成	年	月	日	患者番号	診療録番号	初発時住所	市・区 町・村	再調査②	平成	年 <td>月 <td>日</td> </td>	月 <td>日</td>	日		
ふりがな											組織所見															
診断名	左・両側 右・不明												深達度・病期													
診断日	3 昭和	4 平成	年	月	日	確診・疑	1 確診	2 疑	初発・再発	1 初発	2 再発・転移・治療開始後	9 不明														
診断契機	1 集団検診	4 その他	診断根拠		剖検	1 あり	2 なし	9 不明	腫瘍マーカー	臨床診断		臨床検査(画像診断内臓的所見)	臨床進行度	1 上皮内	4 隣接臓器浸潤											
	2 健康診断	7 他疾患の経過観察中 イ( )			組織診	1 あり(原発巣・転移巣)	2 なし	9 不明	その他の診断根拠					2 当該臓器に限局	5 遠隔転移											
	3 剖検	9 不明			細胞診	1 あり	2 なし	9 不明						3 所属リンパ節転移	9 不明											
治療術	手	1 病巣切除あり(治癒・非治癒・治癒度不明)	手術年月日		3 昭和	4 平成	年	月	日	術式		外科的 内視鏡的														
		2 病巣切除なし(姑息/対症・転移巣切除)			手術施設名		当院・不明 他院( )																			
		3 切除不明	4 なし	9 不明											最終生存確認日	3 昭和	4 平成	年	月	日	死亡年月日	3 昭和	4 平成	年	月	日
その他参考となる事項										死亡場所: 当院・不明・他院( )																
紹介元:										死因:																
紹介先:																										
入院期間:																										

# 調査票の記載方法

平成18年10月 (第5版)

## I 届出対象

宮城県内に住所を有し、悪性新生物（脳腫瘍については良性腫瘍を含む 以下同様）と診断した患者又は疑いの患者を対象とします。

記載にあたっては、初発時の診断・治療に関する情報をご報告頂きたく存じますが、履歴を把握する為再発・転移・新たな治療開始後・死亡時にも可能な限り追加の情報をご報告頂きますようお願い致します。

## II 届出時期

### 新 規

- ①貴院において診断し、記載する情報が揃ったとき
- ②貴院において悪性新生物と診断された患者、又は疑いの患者が他院に転院したとき
- ③他院において悪性新生物と診断された患者、又は疑いの患者が治療のため貴院に転院してきたとき

変更・追加 以前に貴院からいただいた届出症例の内容を変更・追加するとき

- ①診断を変更したとき
  - i 悪性新生物であるとして届出をしたが、診断を悪性新生物ではないと変更したとき
  - ii 原発部位・組織所見の診断を変更したとき
  - iii 手術を行わない予定であったが、手術を行ったとき
- ②前回届出時と原発部位もしくは組織所見が異なった悪性新生物を診断したとき（重複がん）
- ③届出をした悪性新生物に転移・再発があったとき
- ④悪性新生物と診断されていた患者が死亡したとき

個人同定に必要ですので、下記の個所を必ず記載して下さい。

- ・記入年月日 ・患者氏名 ・性別 ・医療機関名称 ・生年月日
- ・患者番号 ・診療録番号 ・住所 ・診断名 ・診断年月日
- ・[その他の参考となる事項] の欄に“変更”及び“追加”と記載

## III 記載方法 \*以外の個所について記載をお願いします。

- 1 記入年月日 記載していただいた年月日をお願いします。
- 2 患者氏名 ふりがなを必ずつけて下さい。
- 3 性 別 男女のどちらかに○をつけて下さい。
- 4 医療機関名称 ゴム印等で結構ですので、必ず記載をお願いします。
- 5 生年月日 必ず元号に○をつけて下さい。
- 6 患者番号 貴院で使用している番号を記載して下さい。  
がん登録室から届出患者について問い合わせる場合、この番号を使用します。
- 7 診療録番号 患者番号以外に番号がある場合（例 入院カルテ番号 等）のみ、記載をお願いします。
- 8 初発時住所 初発時住所の記載をお願いします。県外在住の患者についてのご報告は不要です。  
但し、単身赴任等で住所が2つ以上ある場合（県外を含む）は、その旨を[その他参考となる事項]の欄に記載して下さい。  
（例 実家：東京都中央区築地5-1-1（単身赴任中） 等）  
がん登録室でのデータ整理上、必須です。記載漏れのないようお願いします。

がん登録室でのデータ整理上、必須です。記載漏れのないようお願いします。

## 9 診 断 名

がん登録室でのデータ整理上、必須です。記載漏れのないようお願いします。

- ① 悪性新生物の原発部位を記載して下さい。部位については別紙を参考に、また両側に存在する臓器については右・左・両側等、出来るだけ詳しくお願いします。
- ② 原発部位が2つ以上あった場合（重複がん）はそれぞれ別用紙に記載して下さい（診療内容が全く同じ場合でも、それぞれの部位について記載して下さい）。その旨を〔その他参考となる事項〕の欄に記載して下さい。  
（例 胃癌と急性骨髄性白血病の場合  
胃癌の調査票〔その他参考となる事項〕の欄：重複がん（急性骨髄性白血病）  
急性骨髄性白血病の調査票〔その他参考となる事項〕の欄：重複がん（胃癌） 等）
- ③ 続発性の病名のみ明確な場合（原発不明時）はその旨を明記して下さい。  
（例 転移性肺癌（原発不明） 等）
- ④ 白血病・悪性リンパ腫については別紙を参考にして下さい。
- ⑤ 記載は略語を使用しないで下さい。

## 10 組 織 所 見

- ① 判る限り組織診（又は細胞診）の結果を詳しく（修飾型・分化度・由来など）記載して下さい。
- ② 生検標本と手術標本の結果が異なっていた場合、手術標本の結果を記載して下さい。
- ③ 貴院で検査を行わなかった場合は、他院で実施された検査結果を判る範囲で記載して下さい。
- ④ 組織不明時はその旨を記載して下さい。
- ⑤ 同一部位で複数の組織型が存在していた場合には、1用紙に全ての組織型を記入して下さい。こちらで、重複がんか否かを判断致します。

- 11 深 達 度 ・ 病 期 治療前および術後病理学的TNM分類、ステージ、早期・進行の別等判る範囲で記載して下さい。  
胃・大腸の場合は深達度を、深達度不明時は早期・進行の別を記載して下さい。

## 12 診 断 年 月 日

患者の罹患年を決定するために必須です。記載漏れのないようお願いします。

### 入院した場合

次のうち時間的に最も早い日を診断年月日と定めて下さい。

- ① 入院日（悪性新生物検査・治療のため、初めて入院した日）
- ② 手術日（手術によって初めて悪性新生物と判明した場合には初診日及び入院日はとらず、手術日を優先とします）
- ③ 外来でのがんの診断の契機となった検査等を行った年月日（入院以前の外来 follow が長期の場合）
- ④ 転院してきた場合、紹介元での上記①～③にあてはまる年月日（明確な場合）

### 外来のみの場合

がんの診断の契機となった検査等を行った年月日

- 13 確 診 ・ 疑 悪性（脳腫瘍については良性も含む 以下同様）について確診・疑に○をつけて下さい。  
原発部位が不明でも、悪性であることが確定している場合は確診として下さい。

- 14 初 発 ・ 再 発 初発時の情報が不明で、再発および転移または治療開始後の情報のみが明確な場合は、2. “再発・転移・治療開始後”として下さい。但し、その場合は診断年月日も再発および転移または治療開始後の明確な日として下さい。  
診断名が続発性のものであった場合（原発不明時）、2. “再発・転移・治療開始後”として下さい。  
診断名が原発性か続発性か不明であった場合、9. “不明”として下さい。

## 15 診 断 契 機

- ①集団検診 市町村及び職場で実施するがん検診  
・症状は以前からあったが、放置。その後、検診受診にて発見された場合  
・今年の検診にてポリープと診断。Follow 中、悪性新生物と診断された場合
- ②健康診断 人間ドック、健康診断、市町村及び職場で実施する健診（がん検診以外）
- ③剖 検 生前、悪性新生物を指摘されず、剖検で初めて判明したもの
- ④そ の 他 ①～③および④ア他疾患の経過観察中以外の診断契機について（ ）内に具体的に記載して下さい  
（例 “腹痛” “体重減少” などの具体的自覚症状、“他院からの紹介” 等）  
・検診にて発見されたが放置、その後症状がでて来院した場合  
・前年以前の検診にてポリープと診断。Follow 中、悪性新生物と診断された場合
- ⑤不 明

## 16 診 断 根 拠

- ①剖 検 剖検を行った場合には全て、“あり” に○をつけて下さい。
- ②組織診 } 結果が陰性であっても、悪性新生物の診断のため実施した場合には“あり” に○をつけて下さい。
- ③細胞診 }  
・白血病の場合 骨髄穿刺施行時には“組織診” に○をつけて下さい。  
血液一般検査実施時には“細胞診” に○をつけて下さい。

## 17 その他の診断根拠

病理学的検査以外で診断の根拠となった実施検査に○をつけて下さい。

## 18 臨 床 進 行 度

手術実施時：手術所見と病理診断より記載して下さい。

そ の 他：診断日より2ヶ月以内の全検査結果より判断できる限り、記載して下さい。

但し、癌治療施行（放射線・化学・免疫・内分泌など）以前の結果に限ります。

- ①上 皮 内 (in situ) がん病巣が上皮内にあり、これを超えていないとき
- ②当該臓器に限局 原発臓器又は組織内に癌が限局しているとき
- ③所属リンパ節転移 原発臓器の所属リンパ節に転移があり、それ以上広がっていないとき
- ④隣接臓器浸潤 所属リンパ節転移の有無にかかわらず、隣接臓器又は組織にがんが連続的に広がっているとき
- ⑤遠 隔 転 移
- i 遠隔リンパ節へのリンパ節転移があるとき
  - ii 遠隔臓器（肺、肝臓、脳など）への血行性転移があるとき
  - iii 播種転移（癌性腹膜炎、癌性胸膜炎など）のあるとき
  - iv 白血病、多発性骨髄腫など全身性の癌の場合  
はこの項に入れて下さい。

- ・当てはまるものが2つ以上あった場合、番号の大きいものに○をつけて下さい。
- ・胃のmがんは“1 上皮内”には入れず、“2 当該臓器に限局”に入れて下さい。
- ・大腸のmがんは“1 上皮内”に入れて下さい。

## 19 手 術

他院で施行された手術（がん治療のため）であっても、判る範囲で記載をお願いします。  
胃・大腸・肝臓・膀胱などに対して行う内視鏡的摘除術、病巣焼灼術は手術に含めます。

- ①病巣切除あり 原発巣を切除した場合
- i 治癒切除 腫瘍を完全に摘除しえたとき（相対、絶対）
  - ii 非治癒切除 不完全切除に終わったとき
  - iii 治癒度不明

- ②病巣切除なし 腫瘍切除よりも、症状改善または症状把握を目的とした手術の場合
    - i 姑息・対症 症状改善のために行われたとき  
試験開腹など
    - ii 転移巣切除 原発巣の切除は行わず、転移巣のみ切除したとき
  - ③病巣切除不明 悪性新生物に対しての手術は行ったが、病巣切除したかどうか不明の場合
  - ④なし 悪性新生物に対しての手術を行わなかった場合  
(例 胆管結石除去術 等)
  - ⑤不明 悪性新生物に対しての手術を行ったか不明の場合
- ・当てはまるものが2つ以上あった場合、番号の小さいものを優先して下さい。

- 20 手術年月日 悪性新生物に対して複数回の手術を行った場合、全て記入して下さい。その場合、術式も記載してください。記載する欄が足りない場合には〔その他参考となる事項〕に記載しても構いません。
- 21 手術施設名 手術施行病院が、当院または不明の場合は〔手術施設名〕欄の該当箇所に○を、病院名が明確な場合には〔他院〕に○をつけ、病院名を記載して下さい。
- 22 術式 術式が明確な場合は、その旨を記載して下さい。  
また、外科的・体腔鏡的・内視鏡的の別が明確な場合には、○をつけて下さい。
- 23 その他の治療 手術以外の治療が行われた場合、該当欄の適切なところに○をつけて下さい。  
また、表記項目以外の治療が行われた時は（ ）内に具体的に記載して下さい。
- 24 最終生存確認日 記載時点の貴院で把握している最終生存確認日を記載して下さい。  
死亡した場合は、死亡年月日を記載して下さい。
- 25 死亡年月日 患者が死亡した場合、記載して下さい。  
死亡場所・死因が明確な場合には、その旨を記載して下さい。
- 26 その他参考となる事項  
紹介元・紹介先・入院期間等
- 上記以外、参考となる事項がありましたら記載して下さい。

不明な点につきましては、(財)宮城県対がん協会 がん登録室 までお問い合わせ下さい。

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号  
 (財)宮城県対がん協会内 がん登録室  
 (022)263-1602 (直通)  
 担当 小定・佐々木

---

---

# 宮 城 県 の が ん

1998-2002

2007年3月発行

編集 宮 城 県  
（財）宮 城 県 対 が ん 協 会  
宮城県新生物レジストリー委員会  
〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7-30  
（財）宮城県対がん協会がん登録室  
T E L 022-263-1602（直通）  
F A X 022-262-3775

---

---